

ご説明資料

令和4年12月

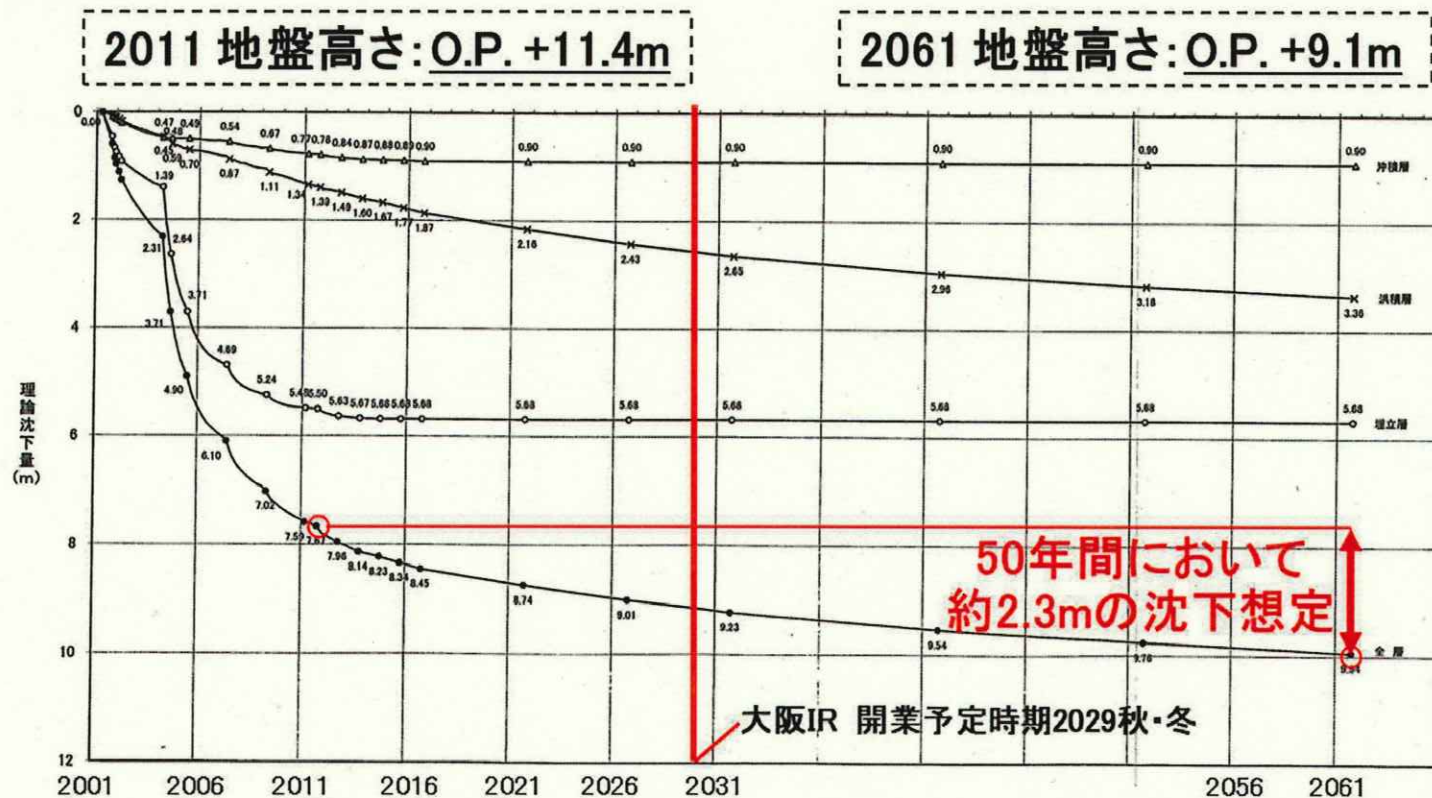
1. ヒアリング状況の報告(土壌、防災・減災 対策関係)

ヒアリングの状況の報告(土壌、防災・減災対策関係)

○ これまで計3回(11/2、11/15、12/20)のヒアリング(土壌、防災減災対策関係)を実施しているところ。本日、主な論点、確認状況について報告。

【地盤沈下】

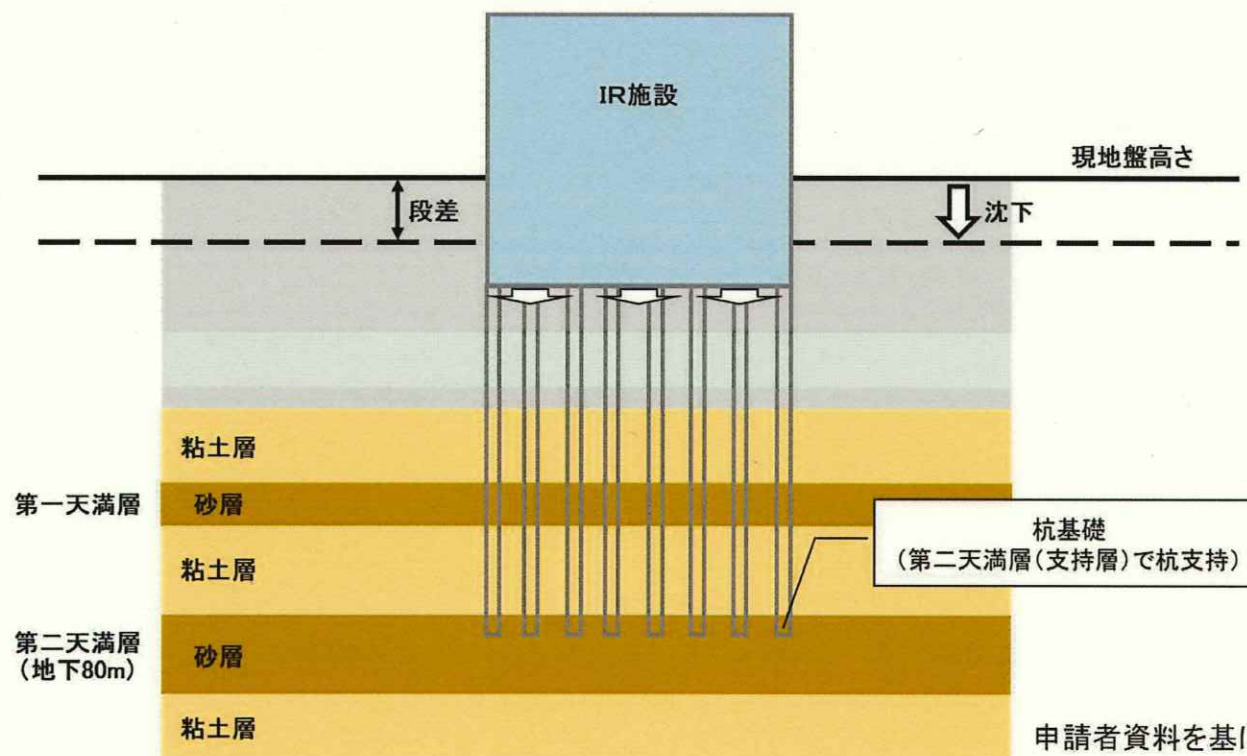
論点	確認状況
○地盤沈下の予測にあたり適切なモデルを選定しているか、使用する実績値が適切か	(引き続き確認)



ヒアリングの状況の報告(土壌、防災・減災対策関係)

【地盤沈下】

論点	確認状況
<p>○IR施設の整備に当たり、地盤沈下への対策は十分か。</p>	<p>○杭基礎を第二天満層(支持層)に打設した場合、建物は地表面から支持層までの地盤沈下の影響をほとんど受けないが、地表面から支持層までの地盤の沈下量のみ、建物と地表面の間に段差が生じることとなる。そのため、周辺地盤との段差を軽減する、あるいは段差を許容する対策を考えるべきである。</p> <p>○杭基礎を採用することによるネガティブフリクション(杭に作用する負の摩擦力)について検討する必要がある。</p>



ヒアリングの状況の報告(土壌、防災・減災対策関係)

【液状化対策】

論点	確認状況
○東日本大震災時の千葉県浦安市の液状化と比較すると、液状化範囲は限定的と見受けられるが、液状化判定に当たっての地盤調査箇所が疎のエリアが存在する。	○IR事業者が実施した追加のボーリング調査等の結果を確認した。これらのデータを用いた液状化評価については、液状化対策との関係で議論される必要がある。
○土砂を注入した箇所と液状化調査箇所を重ね合わせる等、得られる情報を駆使して液状化判定結果の補強をすることはできないか。	○土砂を注入した箇所と液状化調査箇所の重ね合わせた結果から、それらの間にある程度の相関があることが読み取れる。 ○夢洲3区内の地盤高さの観測結果を確認すると、埋立途中において土砂が高く堆積している地点と液状化層が2m以上存在する地点が概ね一致することから、土砂が高く堆積している地点において砂層が厚く存在している可能性がある。夢洲3区内の地盤高さの観測結果を詳細に分析し、おおよその砂層の位置を特定することで、液状化判定結果の補強が可能となるものと推察される。

排砂管位置と液状化判定結果の比較

◎：令和3年1月調査箇所（39本・350gal）



ヒアリングの状況の報告(土壌、防災・減災対策関係)

【液状化対策】

論点	確認状況
○液状化対策として想定されているサンドコンパクションパイル工法について、IR区域全体を改良率12%で実施するのであれば十分であるが、改良率が12%を下回る場合は、対策効果が低減する。	○サンドコンパクションパイル工法による液状化対策が想定されていたところ、大阪府・市が設置する有識者会議において、工法の見直しが検討されている状況下にあることが確認された。 ○改めて、当該専門家会議において議論される液状化対策の内容を確認する必要がある。

【高潮・津波】

論点	確認状況
○津波・高潮対策で地盤を高くするために、当初の計画よりも多量の土砂が盛り土されているが、想定以上の土の重さにより護岸が破壊する恐れがないか。	○護岸の安定性の検証に関して、使用された計算モデルの詳細が一部不明瞭であり、確認が必要である。

2. 審査講評案に向けた認識整理について

審査講評案に向けた認識整理について

評価基準(配点)
①IR区域全体のコンセプト(30点)
②IR区域内の建築物のデザイン(30点)
③IR施設の規模(10点)
④ユニバーサルデザイン、環境負荷低減、多文化共生、フェアトレード(30点)
⑤MICE施設の規模(20点)
⑥MICE施設の機能・設備等(50点)
⑦MICEの誘致・施設の運営方針等(50点)
⑧魅力増進施設(50点)
⑨送客施設(50点)
⑩宿泊施設の規模(20点)
⑪レストラン等の付帯サービス(10点)
⑫宿泊施設のサービス内容・業務の実施体制(30点)
⑬その他観光旅客の来訪・滞在促進施設(30点)
⑭カジノ施設のデザイン・配置(20点)
⑮IR区域への交通利便性(5点)
⑯IRに関連し都道府県等が行う交通アクセスの改善等(15点)
⑰MICE開催件数、観光客増加等の観光への効果(50点)
⑱地域経済への効果(50点)
⑲2030年の政府の観光戦略の目標達成への貢献(50点)
⑳IR事業者等の事業遂行能力(50点)
㉑財務の安定性(50点)
㉒防災・減災対策、コロナ等の感染症対策(50点)
㉓地域との良好な関係構築のための取組(50点)
㉔カジノ事業の収益の活用(50点)
㉕依存症対策等のカジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除(150点)

評価基準2

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

項目 (配点)	評価基準	具体的記載項目 (手引きより抜粋)	配点の 細分化	ベンチマーク						
2. IR区域 全体の建 築物のデ ザイン (30点)	IR区域内の建築物のデザインが、IR区域全体のコンセプトを具現化しており、IR区域が立地する地域の新たな象徴となり得るような先進性や他には見られない魅力を有するとともに、周囲の景観や環境と調和したものであることが求められる。	①IR区域内の建築物の外観、内装 ②IR区域内の建築物の配置	なし	<p>・方針について、以下①～③で例示する観点など、IR区域全体のコンセプトの具現化、先進性、周辺との調和に関し十分に配慮された計画と考えられる場合、「優れている」以上の高い評価を与える。</p> <p>・評価に当たっては、IR施設の配置や、シンガポールIR等の先行事例での審査内容、IRの基本方針の関連記述を参考とする。</p> <p>(評価の観点の例)</p> <table border="1" data-bbox="1218 836 2139 1342"> <thead> <tr> <th data-bbox="1218 836 1532 932">①IR区域全体の コンセプトの具現化</th> <th data-bbox="1532 836 1827 932">②先進性</th> <th data-bbox="1827 836 2139 932">③周辺との調和</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1218 932 1532 1342">・IR区域全体のコンセプトが、建築物の外観、内装に適切に反映されている。</td> <td data-bbox="1532 932 1827 1342">・建築物のデザインが、IR区域が立地する地域の新たな象徴として相応しい。</td> <td data-bbox="1827 932 2139 1342">・立地する地域が有する文化や歴史的背景を十分盛り込んでいる。 ・IR区域とその周囲との景観や環境との、親和的な調和、対比的な調和への工夫がみられる。</td> </tr> </tbody> </table>	①IR区域全体の コンセプトの具現化	②先進性	③周辺との調和	・IR区域全体のコンセプトが、建築物の外観、内装に適切に反映されている。	・建築物のデザインが、IR区域が立地する地域の新たな象徴として相応しい。	・立地する地域が有する文化や歴史的背景を十分盛り込んでいる。 ・IR区域とその周囲との景観や環境との、親和的な調和、対比的な調和への工夫がみられる。
①IR区域全体の コンセプトの具現化	②先進性	③周辺との調和								
・IR区域全体のコンセプトが、建築物の外観、内装に適切に反映されている。	・建築物のデザインが、IR区域が立地する地域の新たな象徴として相応しい。	・立地する地域が有する文化や歴史的背景を十分盛り込んでいる。 ・IR区域とその周囲との景観や環境との、親和的な調和、対比的な調和への工夫がみられる。								

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

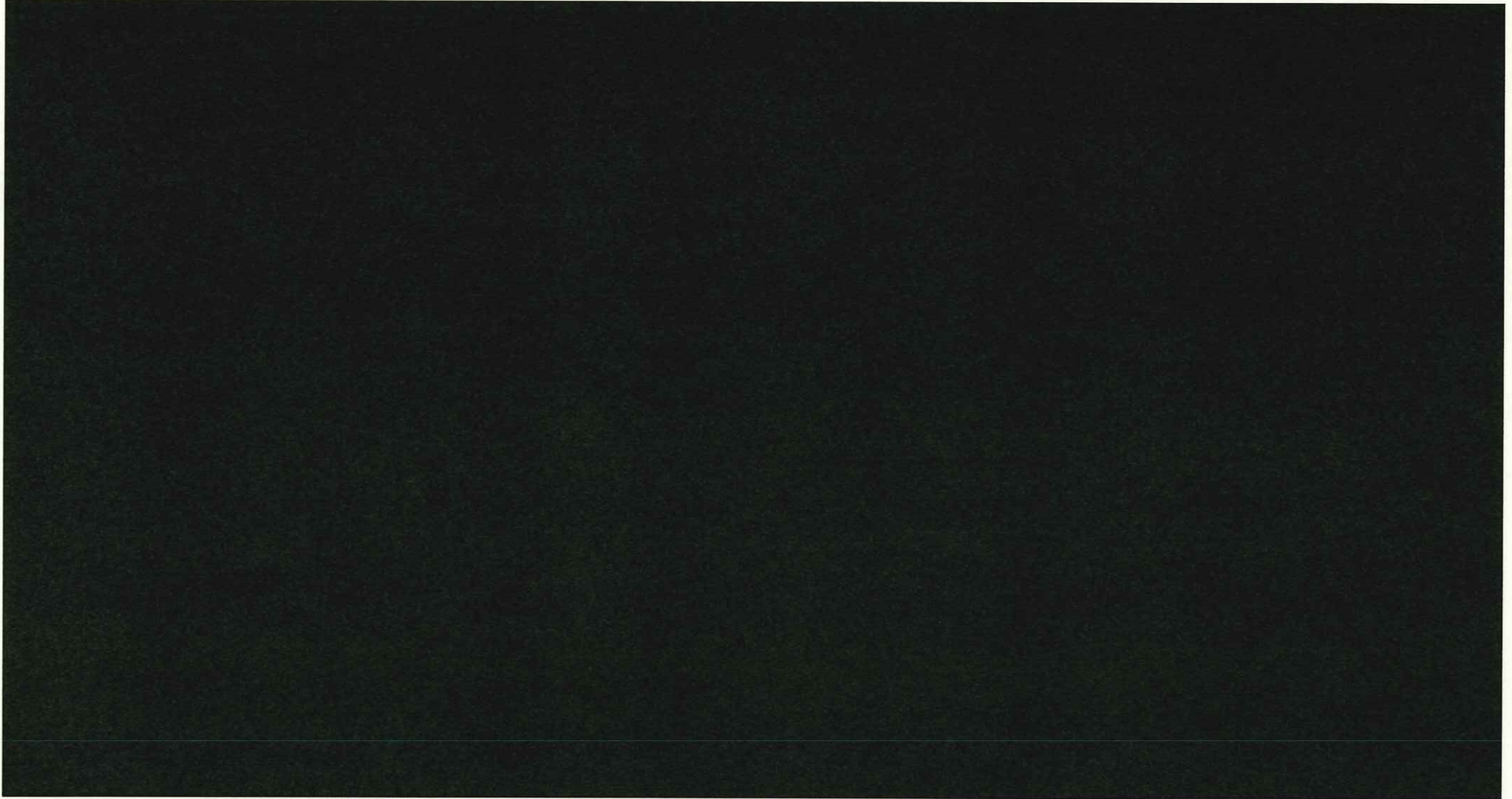
＜認識整理＞ ※下線は特に御議論いただきたい箇所

- 結びの庭における水路の取りやめ・水景縮小など一部の計画が変更される結果となった点は残念ではあるが、大阪IRの空間全体としては、水やみどりの自然の景色の取り入れ、噴水や水盤を有するステージの設置、水辺の賑わいの演出等により、大阪がこれまで水運と共に発展し、祭事などで河辺に賑わいが生まれてきた歴史的背景を踏まえたものとされており^{【論点①】}、また、「結びの庭」を中心にIR区域内のゾーニングを行い、IR区域内の各施設間での回遊性を向上させる施設配置とすることで、大阪IRのコンセプトである「結びの水都」が具現化されていると考えられる。
- 「結びの庭」を中心に、IR区域中心部のオープンスペースにおける水盤・噴水と、山型の特徴的な外観を有する近代的な宿泊施設が共存し、個性的な建築群に映える新たな技術によるエンターテインメントを提供することや、各建築物内部において空間構成の工夫と先端技術を導入することが検討されており、先進性への配慮や独創的な魅力を有する空間設計となっていることがうかがえる。
- 設計技術上の理由により、MUSUBIホテルの形状やMGM大阪の階数に変更となるなど特徴的な建築物の形状の変更が見られるところ、MUSUBIホテルにおいては来訪者の視線に近い低層部を中心に曲線を取り入れるなど全体コンセプトや周辺との調和は引き続き反映されていると考えられるが、今後、更なる詳細設計・建設段階でデザインの変更があっても、全体のコンセプトを反映したものとすることが求められる。^{【論点②】}

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

- 結びの庭における水路の取りやめ・水景縮小など一部の計画が変更される結果となった点は残念ではあるが、
.....

評価基準2 特定複合観光施設 全体外観



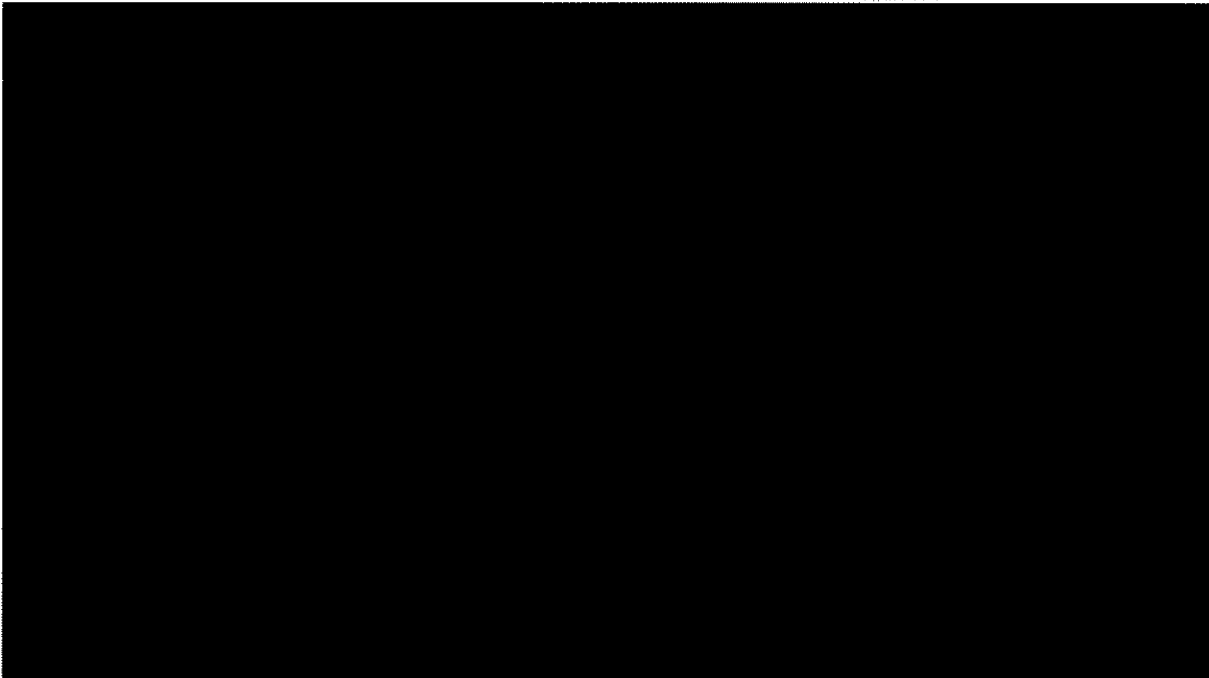
※中央左にある円弧形状の施設（MUSUBIホテル）については、直線形状に変更を行う計画。
※中央上部にある階段状の施設（MGM大阪）の山型形状の段数については、5段から4段に変更を行う計画。

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

パース変更前



パース変更後



評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

- 大阪IRの空間全体としては、水やみどりの自然の景色の取り入れ、噴水や水盤を有するステージの設置、水辺の賑わいの演出等により、大阪がこれまで水運と共に発展し、祭事などで河辺に賑わいが生まれてきた歴史的背景を踏まえたものとされており^{【論点①】}、……

<区域整備計画 抜粋 (p.66)>

①IR区域内の建築物の外観及び内装

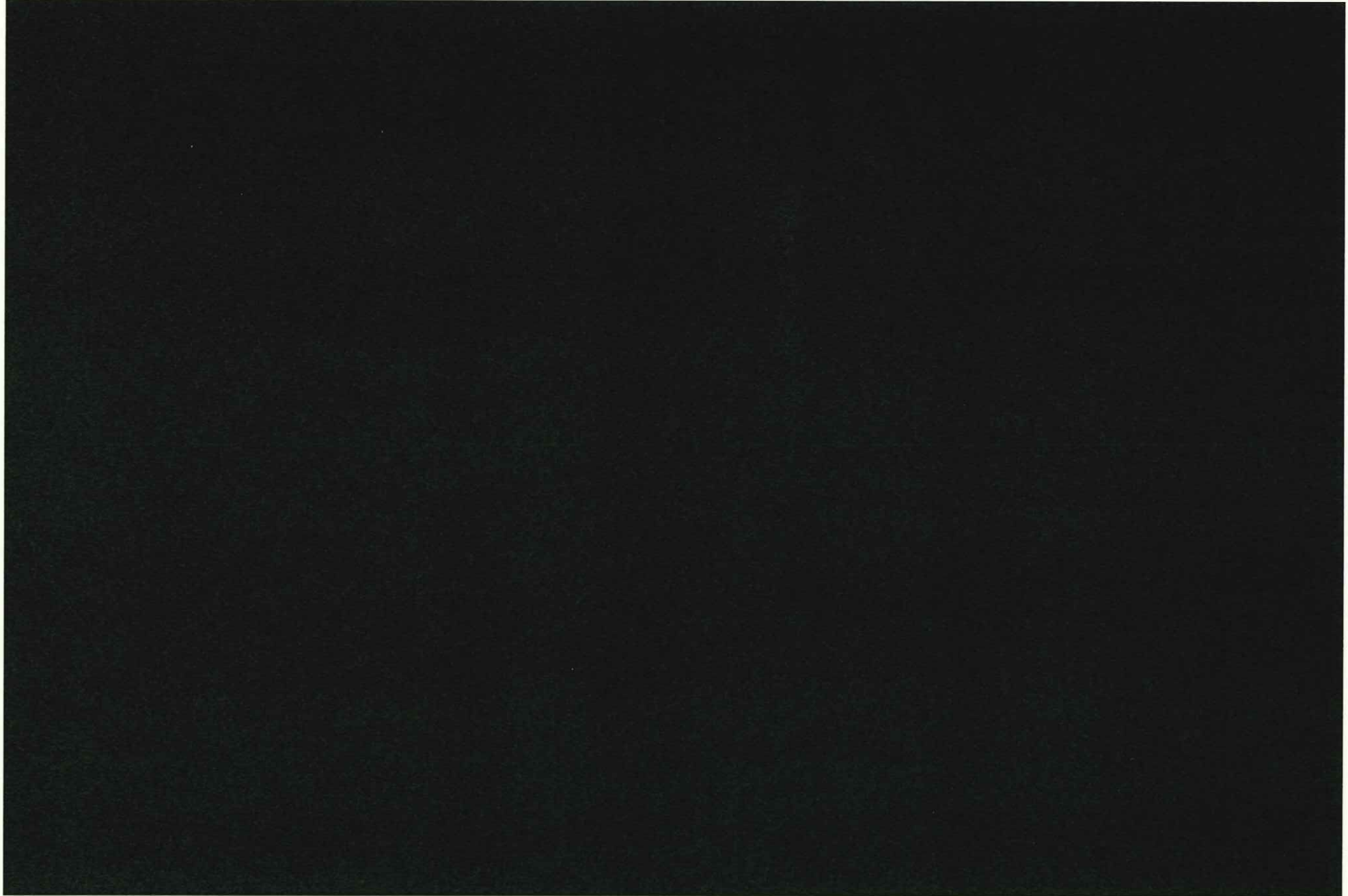
1. 「結びの水都」の具現化

以下の方針に基づき、各建築物の外観及び内装をデザインすることで、大阪IRのコンセプトである「結びの水都」を空間全体で具現化する。

- 水やみどりの自然の景色を随所に取り入れ、個性的な建築群とその外観に統一感をもたらすデザイン上の工夫によって、独創的かつ景観調和の図られた空間形成を図る。
- 各建築物の内装については、その機能・用途に応じて、施設内部での体験価値を最大化する個別のストーリーを設定し、これに沿ったカラースキーム・材料等を採用することで、来訪者が視覚的に空間を楽しめ、大阪IRでの滞在をより印象的なものとするような空間形成を図る。各施設で異なったストーリーを提供することで、複合的な全体としての魅力を体現することをめざす。

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

<質問回答 抜粋 (12月9日提出)>



<区域整備計画 抜粋 (p.66)>

①IR区域内の建築物の外観及び内装

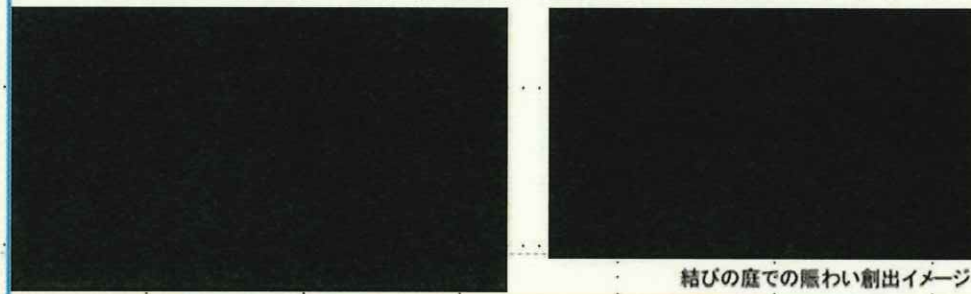
3. 大阪の文化や歴史的背景を踏まえた空間演出

- **大阪は水運に支えられて経済と文化の中心的都市として発展し、明治の頃には“水の都”と呼ばれ水都として発展してきた歴史**を持ち、その独自性と豊かな水辺空間を活かし、活気ある商業のまちとして成長。近年においても、都心部の河川に遊歩道や船着き場が整備され、それらを活かしたクルーズや規制緩和を活用した水辺の民間ビジネスが生まれる等、大阪は日本で最も水辺ににぎわいのある都市となっている。
- 大阪IRでは、水辺空間での活気とにぎわい溢れる風景等の、大阪らしい水辺空間の持つ魅力を体現することをめざし、水やみどりの要素を随所に取り入れたランドマーク性のある空間を創出する。

<質問回答 抜粋 (12月9日提出)>

②水景と共にある人々の賑わい

- 大阪は水運と共に発展し、祭事などで河辺が賑わい、それを橋の上から見物した人々の様子などが歴史に残っています。大阪IRではこの様な水辺の賑わいを継承し、結びの庭の噴水や水盤を有するステージでエンターテイメントを提供し、それを間近で見楽しむ人々と、ホテル等からそれを眺める風景により、多層的な賑わいを創出します。

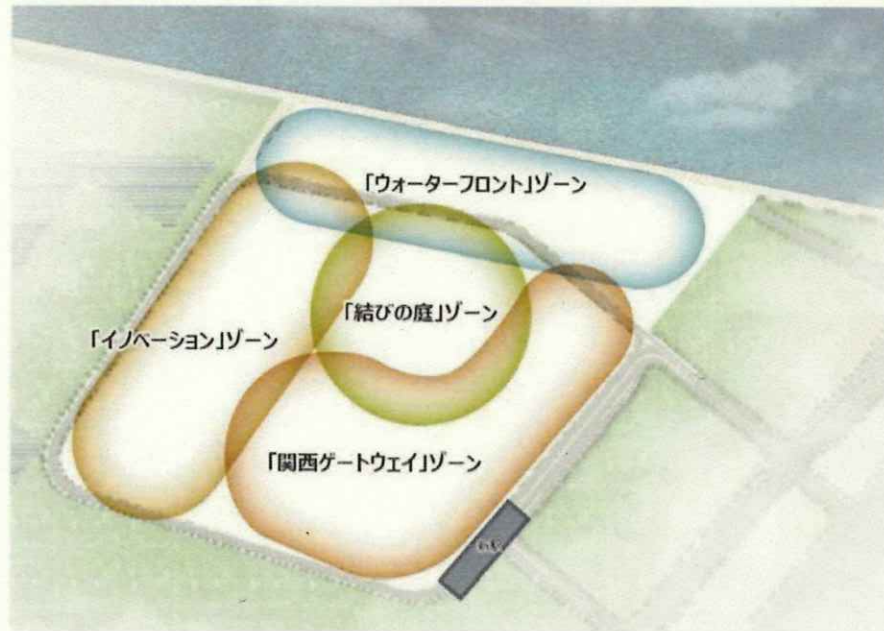


⇒【論点①】大阪が有する文化・歴史的背景について、建築物のデザインに対する反映状況をどのように考えるか。

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

- ・・・また、「結びの庭」を中心にIR区域内のゾーニングを行い、IR区域内の各施設間での回遊性を向上させる施設配置とすることで、大阪IRのコンセプトである「結びの水都」が具現化されていると考えられる。

■ゾーニングとゾーンごとの配置計画



<区域整備計画 抜粋 (p.66~67)>

②IR区域内の建築物の配置

1. 基本的な考え方

- 開発コンセプトとして掲げた4つのテーマや夢洲まちづくり構想を踏まえて、IR区域内を4つのゾーンに分け、それぞれの特徴に基づいた配置計画を行う。IR区域の中心にはオープンスペースとして「結びの庭」を設ける。
- 「結びの庭」を介して施設間での視線や動線の交差が生まれることで、IR区域内の各施設間での回遊性を向上させ、にぎわいの創出をめざす。

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

- 「結びの庭」を中心に、IR区域中心部のオープンスペースにおける水盤・噴水と、山型の特徴的な外観を有する近代的な宿泊施設が共存し、個性的な建築群に映える新たな技術によるエンターテインメントを提供することや、各建築物内部において空間構成の工夫と先端技術を導入することが検討されており、先進性への配慮や独創的な魅力を有する空間設計となっていることがうかがえる。

<区域整備計画 抜粋 (p.66)>

①IR区域内の建築物の外観及び内装

2. 空間の象徴性・先進性

- 「結びの庭」を中心に、個性的な建築群に映える新たな技術によるエンターテインメントを提供することで、国内外からの来訪者を魅了する空間を演出する。
- 各建築物の内部において、空間構成の工夫と先端技術の導入により、先進的で非日常的な空間を提供する。

評価基準2 IR区域内の建築物のデザイン

- 設計技術上の理由により、MUSUBIホテルの形状やMGM大阪の階数が変更となるなど特徴的な建築物の形状の変更が見られるところ、MUSUBIホテルにおいては来訪者の視線に近い低層部を中心に曲線を取り入れるなど全体コンセプトや周辺との調和は引き続き反映されていると考えられるが、今後、更なる詳細設計・建設段階でデザインの変更があっても、全体のコンセプトを反映したものとすることが求められる。【論点②】

MUSUBIホテルの形状変更(形状を曲線から直線に変更)

<質問回答 抜粋(12月9日)>

- 来訪者の視線に近い低層部を中心に曲線を取り入れ、MGM大阪の曲線や、結びの庭を囲む全体の柔らかなデザインと調和を取った計画としています。

⇒【論点②】今後、更なる詳細設計・建設段階でデザインの変更があっても、全体のコンセプトを反映したものとすることを求めていく必要があるのではないか。

評価基準14

評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

項目 (配点)	評価基準	具体的記載項目 (手引きより抜粋)	配点の 細分化	ベンチマーク				
14.カジノ施設のデザイン・配置 (20点)	IR区域全体のコンセプトと調和し、他の施設とバランスの取れた規模、デザイン及び配置となっていることが求められる。	①カジノ施設の種類、機能、配置、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針(カジノ施設周辺の動線、カジノ施設を利用しないIR利用者への配慮等を含む) ②カジノ施設の数、規模	なし	<p>・方針について、以下①、②で例示する観点など、IR区域全体のコンセプトとの調和や、他の施設とバランスの取れた規模、デザイン及び配置に関して十分に配慮された計画と考えられる場合、「優れている」以上の高い評価を与える。</p> <p>・評価に当たっては、国内外の事例を参考としつつ、IRの基本方針及びカジノ管理委員会施行規則の関連記述を参考とする。</p> <p>(評価の観点の例)</p> <table border="1" data-bbox="1218 735 2134 1002"> <thead> <tr> <th data-bbox="1218 735 1686 788">①カジノ施設のデザイン</th> <th data-bbox="1686 735 2134 788">②各施設の配置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1218 788 1686 1002">・カジノ施設が「IR区域全体のコンセプト(評価基準①)、IR区域内の建築物のデザイン(評価基準②)」と調和しており、華美なものとなっていない。</td> <td data-bbox="1686 788 2134 1002">・カジノ施設を経由せず各施設にアクセス可能な配置となっている。</td> </tr> </tbody> </table>	①カジノ施設のデザイン	②各施設の配置	・カジノ施設が「IR区域全体のコンセプト(評価基準①)、IR区域内の建築物のデザイン(評価基準②)」と調和しており、華美なものとなっていない。	・カジノ施設を経由せず各施設にアクセス可能な配置となっている。
①カジノ施設のデザイン	②各施設の配置							
・カジノ施設が「IR区域全体のコンセプト(評価基準①)、IR区域内の建築物のデザイン(評価基準②)」と調和しており、華美なものとなっていない。	・カジノ施設を経由せず各施設にアクセス可能な配置となっている。							

評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

<認識整理> ※下線は特に御議論いただきたい箇所

- カジノ施設のデザインについて、外観においては、周辺と調和した目立たない外観にすることで、他のIR施設のデザインとの調和^{【論点①】}やカジノ施設を利用しない者への配慮が検討されている。また、内観については、開放的な空間が創出されているものの、IR区域全体のコンセプトの反映が読み取れず、大阪・日本のカジノ施設としてふさわしい空間の配慮が十分には見受けられなかった。^{【論点②】}
- カジノ施設の配置について、外部から視認されにくい場所への配置が検討されており、カジノ施設を通過せず、他の施設との行き来が可能となるよう動線を工夫するなど、カジノ施設を利用しない者への配慮が見受けられる。

評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

- カジノ施設のデザインについて、外観においては、周辺と調和した目立たない外観にすることで、他のIR施設のデザインとの調和^{【論点①】}やカジノ施設を利用しない者への配慮が検討されている。……

<区域整備計画 抜粋 (p.110)>

4. カジノ施設の外観及び内装の特徴

(1) 外観

- 景観の調和を実現するため、**周辺施設のコンセプトやデザインに親和するデザイン**とする。
- **カジノ施設のエントランスは8か所とし、カジノ施設が目立たない配置とするほか、本人確認区画をスクリーン壁によって隔て、外部からは本人確認区画等のカジノ施設内が見えない外観とする。**

⇒【論点①】カジノ施設の外観について、他のIR施設のデザインとの調和が図られているものといえるか。

評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

カジノ施設 外観

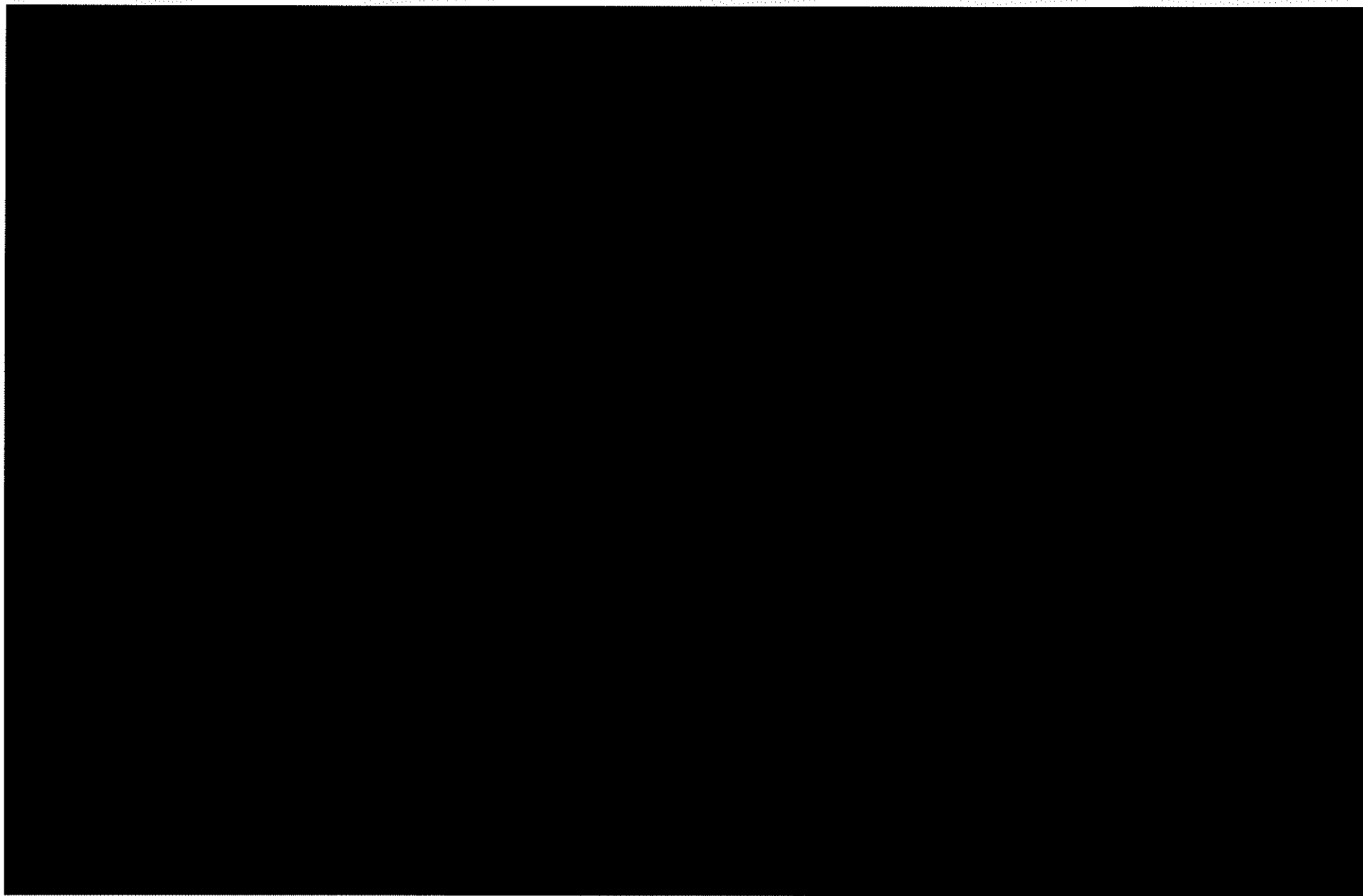


カジノ施設はMGM大阪と一体化した低層建物の内部に配置

※中央上部にある階段状の施設（MGM大阪）の山型形状の段数については、5段から4段に変更を行う計画。

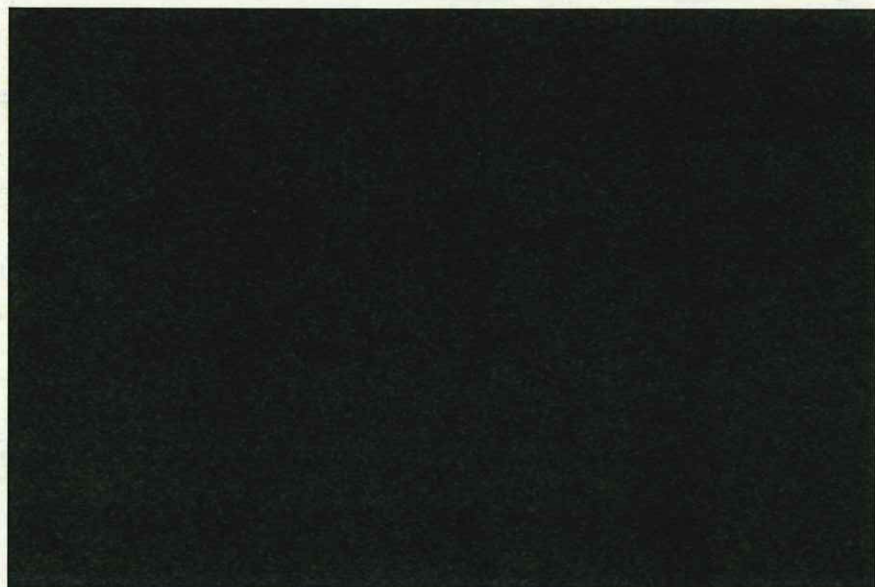
評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

- …また、内観については、開放的な空間が創出されているものの、…



評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

マリーナベイサンズ(シンガポール)



リゾートワールドセントーサ(シンガポール)



フラミンゴ(米国・ラスベガス)



評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

- ・・・内観においては、IR区域全体のコンセプトの反映が読み取れず、大阪・日本のカジノ施設としてふさわしい空間の配慮が十分には見受けられなかった。【論点②】

<評価基準1 区域整備計画 抜粋 (p.62)>

1. IR区域全体のコンセプト

(1)基本理念:「結び」

「人・モノ・投資、情報・才能」、「大阪・関西・日本の過去、現在と未来」、「大阪・関西と日本と世界」、あらゆるものを「結ぶ」結節点となるIRをめざす。

(2)IR区域全体のコンセプト:「結びの水都」

大阪・関西が古くから育んできた伝統・文化・精神を継承し、IRの施設計画及びコンテンツに反映し、大阪・関西の大きな人口・経済規模を始め、豊富な伝統、歴史、文化的な観光資源、陸・海・空の恵まれた交通網、アジア圏への近接性といった、大阪・関西の資源・ポテンシャルを活かし、**伝統と革新、過去と未来、大阪と関西、日本、世界を結び、新たなエンターテインメントやイノベーションを生み出す、ここにしかないオンリーワンのIRを実現する。**

大阪は水都として発展してきた歴史を持つ。夢洲のオーシャンフロントの立地・眺望を活かして、豊かな水辺空間の持つ魅力を体現する。

⇒【論点②】カジノ施設の内観について、IR区域全体のコンセプトとの調和の観点から、大阪・日本のカジノ施設としてふさわしい空間への配慮についてどのように考えるか。

評価基準14 カジノ施設のデザイン・配置

- カジノ施設の配置について、外部から視認されにくい場所への配置が検討されており、カジノ施設を通過せず、他の施設との行き来が可能となるよう動線を工夫するなど、カジノ施設を利用しない者への配慮が見受けられる。

<区域整備計画 抜粋 (p.110)>

3. カジノ施設の配置

- (1) **カジノ施設を利用しないIR利用者への配慮として、カジノ施設への入退場ゲートを限定し、外部から目立たない配置・デザインとする。**

カジノ施設の位置と周辺動線

■カジノ施設の位置と周辺動線



凡例：
歩行者動線 →

評価基準8

評価基準8 魅力増進施設

項目 (配点)	評価基準	具体的記載項目 (手引きより抜粋)	配点の 細分化	ベンチマーク						
8. 魅力増進施設 (50点)	世界中の観光客を引き付けることのできる、国際的に最高水準のエンターテインメント性を有する公演、展示、イベント等を提供するとともに、これを通じて、日本の伝統、文化、芸術、先端技術、四季折々の自然などの様々な魅力を、幅広く又はより深く、これまでにないクオリティで発信することが求められる。また、計画された事業を実施するために必要な体制及びノウハウを備えていることが求められる。	①魅力増進施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針 ②魅力増進施設の業務の実施体制及び実施方法	あり (コンテンツ) 20点 (発信方法) 20点 (体制及びノウハウ) 10点	<p>・方針について、以下①～③で例示する観点など、日本の魅力をこれまでにないクオリティで発信し、世界中の観光客を引き付けるために十分に配慮された計画と考えられる場合、「優れている」以上の高い評価を与える。</p> <p>・評価に当たっては、ミラノ国際博覧会日本館の事例を参考としつつ、どのような考え方で計画しているかを確認するものとする。 (評価の観点の例)</p> <table border="1" data-bbox="1131 708 2123 1501"> <thead> <tr> <th data-bbox="1131 708 1563 759">①コンテンツ</th> <th data-bbox="1563 708 1778 759">②発信方法</th> <th data-bbox="1778 708 2123 759">③体制及びノウハウ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1131 759 1563 1501"> <展示> ・展示品の知名度がある ・制作者の知名度がある <鑑賞> ・公演予定団体の知名度がある ・公演予定団体の実績がある <体験> ・そこでしか体験できないものになっている ・理解が深まるようなストーリー性を有する <販売> ・幅広い商品を提供している <消費> ・幅広い商品を提供している 【共通】 ・日本人含め、誰でも楽しめるものとなっている(多言語対応、バリアフリー等) </td> <td data-bbox="1563 759 1778 1501"> ・発信方法に多様性がある(展示、鑑賞、体験、販売、消費等の方法からいくつか選択している) ・各発信方法について工夫されている ・平日、休日を問わずに楽しめるようになっている ・何度もリピートしたいと思えるような工夫がされている </td> <td data-bbox="1778 759 2123 1501"> 運営事業者において、 ・十分な組織体制が構築されている ・これまでに同規模施設の運営実績がある コンテンツ制作に携わる主要スタッフにおいて、 ・十分な組織体制が構築されている ・これまでに同規模コンテンツの制作実績がある </td> </tr> </tbody> </table>	①コンテンツ	②発信方法	③体制及びノウハウ	<展示> ・展示品の知名度がある ・制作者の知名度がある <鑑賞> ・公演予定団体の知名度がある ・公演予定団体の実績がある <体験> ・そこでしか体験できないものになっている ・理解が深まるようなストーリー性を有する <販売> ・幅広い商品を提供している <消費> ・幅広い商品を提供している 【共通】 ・日本人含め、誰でも楽しめるものとなっている(多言語対応、バリアフリー等)	・発信方法に多様性がある(展示、鑑賞、体験、販売、消費等の方法からいくつか選択している) ・各発信方法について工夫されている ・平日、休日を問わずに楽しめるようになっている ・何度もリピートしたいと思えるような工夫がされている	運営事業者において、 ・十分な組織体制が構築されている ・これまでに同規模施設の運営実績がある コンテンツ制作に携わる主要スタッフにおいて、 ・十分な組織体制が構築されている ・これまでに同規模コンテンツの制作実績がある
①コンテンツ	②発信方法	③体制及びノウハウ								
<展示> ・展示品の知名度がある ・制作者の知名度がある <鑑賞> ・公演予定団体の知名度がある ・公演予定団体の実績がある <体験> ・そこでしか体験できないものになっている ・理解が深まるようなストーリー性を有する <販売> ・幅広い商品を提供している <消費> ・幅広い商品を提供している 【共通】 ・日本人含め、誰でも楽しめるものとなっている(多言語対応、バリアフリー等)	・発信方法に多様性がある(展示、鑑賞、体験、販売、消費等の方法からいくつか選択している) ・各発信方法について工夫されている ・平日、休日を問わずに楽しめるようになっている ・何度もリピートしたいと思えるような工夫がされている	運営事業者において、 ・十分な組織体制が構築されている ・これまでに同規模施設の運営実績がある コンテンツ制作に携わる主要スタッフにおいて、 ・十分な組織体制が構築されている ・これまでに同規模コンテンツの制作実績がある								

<認識整理> ※下線は特に御議論いただきたい箇所

①コンテンツ

- ガーデンシアターでは、伝統的な太鼓芸能集団と世界的に人気を博すパフォーマンス集団によるコラボレーション・ショーの実施や、三道体験スタジオでは、日本の伝統的な芸道を、先進的なテクノロジー等を用いた演出による提供などが検討されており、世界中の観光客を引き付け、日本の伝統、文化、芸術等の様々な魅力を発信するための一定の配慮がなされた計画であることがうかがえる。
- 我が国の伝統、文化、芸術等を生かした日本らしい魅力的なコンテンツの提供として、能・狂言といった伝統的芸能や日本の芸道をテーマとした展示、国内外で高い評価を受ける日本のメディアアーティスト等の作品展示などが検討されており、日本全体の魅力発信に前向きに取り組む姿勢がうかがえる。【論点①】

②発信方法

- 鑑賞、体験など、発信方法に多様性が見受けられ、また、季節の移り変わりに合わせて演出内容の更新や、企画展に加えて、ワークショップ等の参加型プログラムの実施、その時々ニーズやトレンドに合わせた最適なコンテンツの提供など、リピート促進のための取組に一定の配慮が見受けられる。
- 各施設間で連携し、1日の中でイベント等の開催スケジュールが重複しないように設定するなど、来訪客の滞在を促進する工夫が見受けられる。また、観光客がいつでも楽しめるようにする観点から、各施設におけるイベントについて、平日、休日を問わずいつでも開催されることが期待される。【論点②】

③体制及びノウハウ

- 米国やマカオで複数のシアター運営実績を有するMGMのノウハウを活かした運営体制が構築されており、また、施設全体として、長期的な人材育成に向けた前向きな姿勢が見受けられる。

評価基準8 魅力増進施設

- ・ ガーデンシアターでは、伝統的な太鼓芸能集団と世界的に人気を博すパフォーマンス集団によるコラボレーション・ショーの実施や、三道体験スタジオでは、日本の伝統的な芸道を、先進的なテクノロジー等を用いた演出による提供などが検討されており、世界中の観光客を引き付け、日本の伝統、文化、芸術等の様々な魅力を発信するための一定の配慮がなされた計画であることがうかがえる。

<区域整備計画 抜粋 (p.84～85)>

①魅力増進施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

3. ガーデンシアター

b. コンテンツ内容

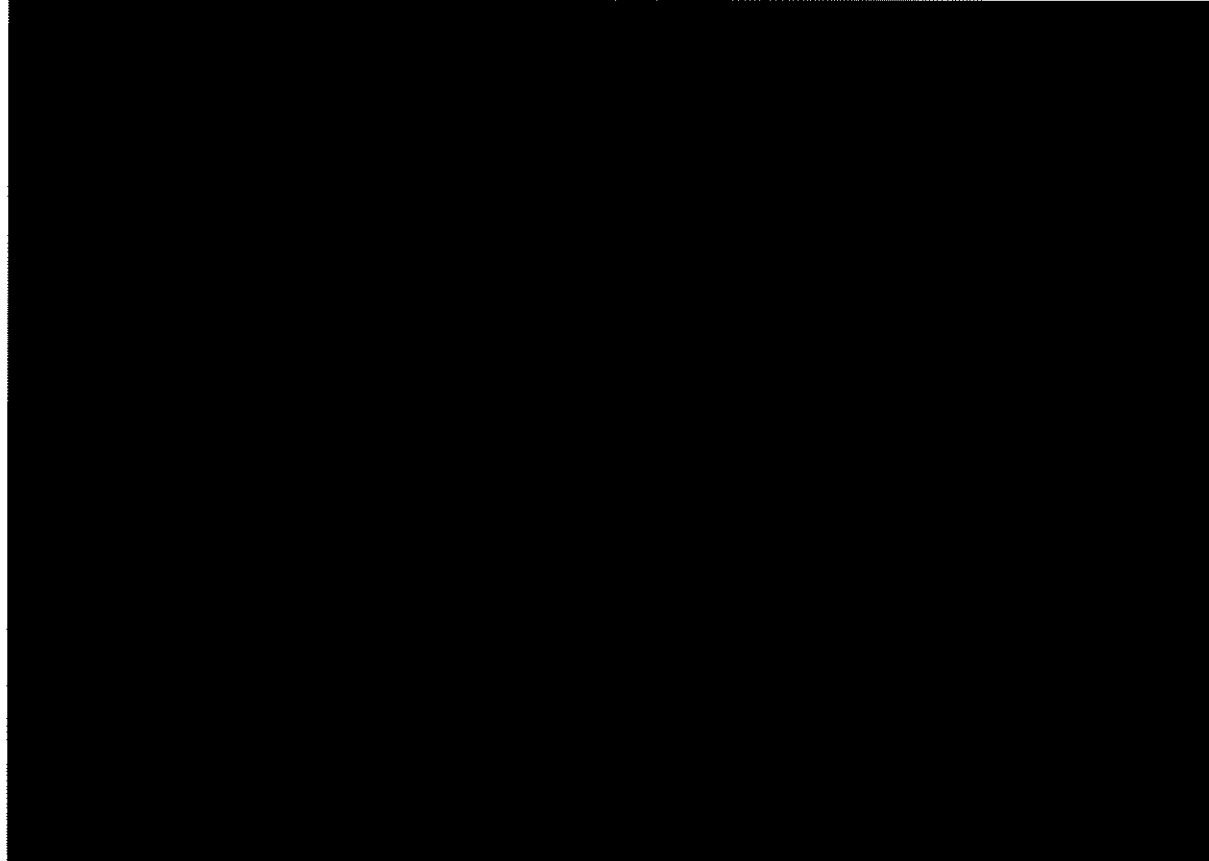
- ・ 日本の伝統文化から現代的なポップカルチャーにいたるまで、時代を問わない日本の魅力を発信する。
- ・ テクノロジーを駆使した現代的かつ芸術的な表現手法を組み入れた、これまでにない革新的な舞台芸術作品の創出をめざす。
- ・ 伝統芸能を身近に体験できるプログラムや、**伝統的な太鼓芸能集団と世界的に人気を博すパフォーマンス集団によるコラボレーション・ショー等の公演を企画する。**

4. 三道体験スタジオ

b. コンテンツ内容

- ・ **華道・茶道・香道等の日本の伝統的な芸道を、先進的なテクノロジー等を用いた演出によって、五感を通じた体験として提供する。**

<添付資料（三道体験スタジオ）>



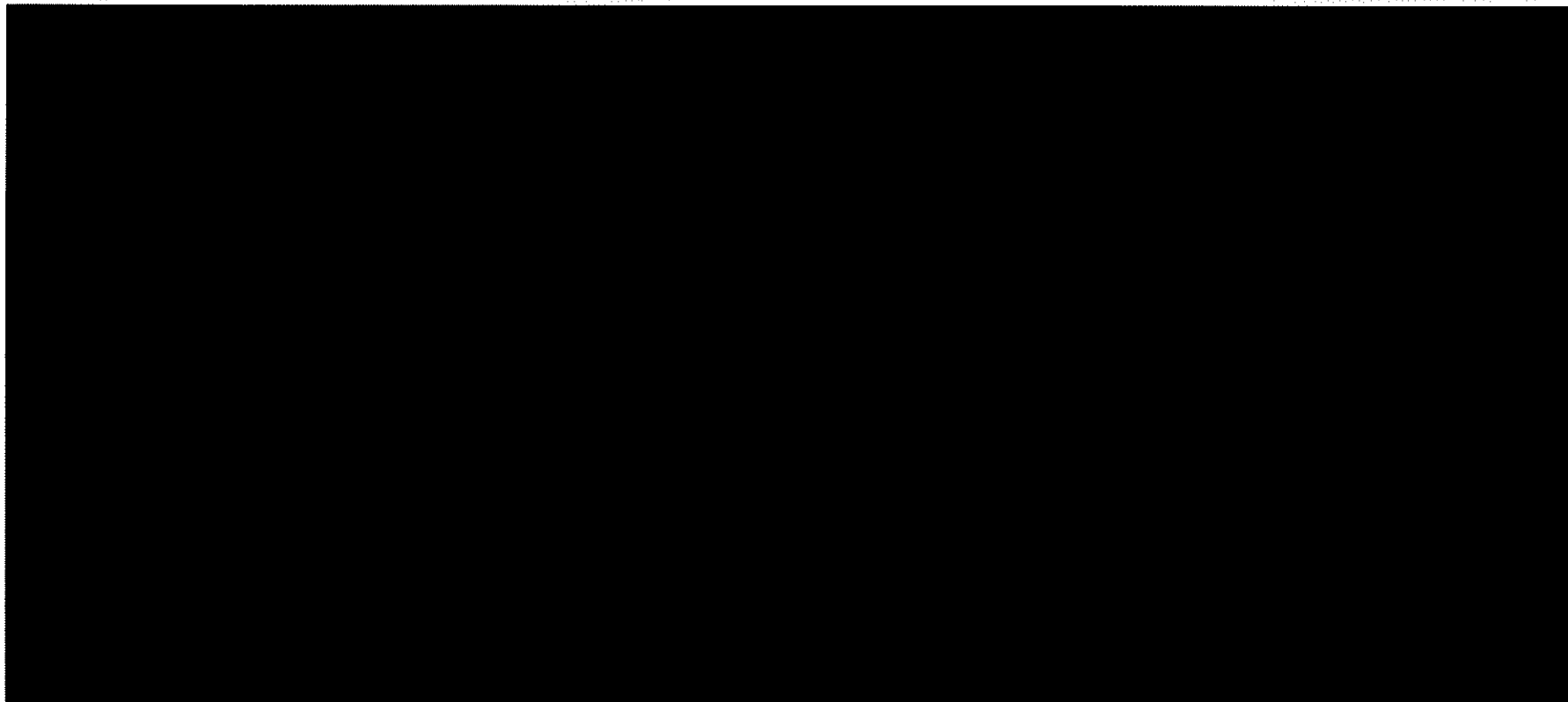
評価基準8 魅力増進施設

- 我が国の伝統、文化、芸術等を生かした日本らしい魅力的なコンテンツの提供として、能・狂言といった伝統的芸能や日本の芸道をテーマとした展示、国内外で高い評価を受ける日本のメディアアーティスト等の作品展示などが検討されており、日本全体の魅力発信に前向きに取り組む姿勢がうかがえる。【論点①】

<質問回答 抜粋（8月5日提出）>

- 各魅力増進施設においては、日本各地で育まれてきた伝統的な魅力から、現代において、国内外で人気を博している文化的・芸術的な魅力まで、幅広い魅力を発信します。
- また、大阪・関西に所縁の深いコンテンツを核としつつも、大阪・関西にとどまらない日本各地の魅力ある芸能、食、工芸、芸術などを紹介し、大阪IR全体として日本の観光魅力のショーケースとなることをめざします。
- 例えば、以下のような観光魅力の増進・発信を想定しています。
 - ガーデンシアター：能・狂言や、大阪発祥の文楽といった伝統的な芸能から、2.5次元ミュージカルのような現代日本のサブカルチャーまで様々な舞台芸術等の公演。
 - 三道体験スタジオ：古くから関西で親しまれてきた華道、茶道、香道といった伝統的な芸道と、現代の日本が誇る先進的なテクノロジーがコラボレーションした体験の提供。
 - ジャパン・フードパビリオン：大阪・関西の奥深い食文化を発信する多様な飲食店舗を設置。また、大阪・関西に留まらず、広く日本の食の魅力を発信するイベントを企画。
 - 関西ジャパンハウス：工房スペースには大阪・関西及び日本全国から職人を誘致し、各地の伝統工芸品の魅力を発信。
 - 関西アート&カルチャーミュージアム：大阪・関西に所縁の深いアーティストによる作品や、国内外で高い評価を受ける日本のメディアアーティスト等の作品を展示。

<添付資料（関西ジャパンハウス 内観）>



評価基準8 魅力増進施設

<10月28日ヒアリングにおける申請者回答抜粋>

日本の魅力発信に関する申請者の回答(IR事業者:オリックス)

- 大阪IRでは5つの魅力増進施設を計画しており、大阪関西だけでなく、日本各地の幅広い魅力を取り扱って国内外に向けて発信していきたい、また、その上で日本各地の観光の振興にも寄与していきたいと考えている。
- ガーデンシアターについては、日本の伝統芸能を中心というところで、こちらは大阪関西にとどまる(内容)ということではない。
- 三道体験スタジオについては、お茶や香り、お花といった日本の芸道をテーマとした展示を行い、関西に限定したのではなく、広くテクノロジーを使いながら発信していくことを考えている。
- ジャパン・フードパビリオンについては、日本の食文化を発信する。提案資料の中に大阪IRにおける飲食に関心を表明している企業の意向表明書を添付させていただいており、こちらは確かに大阪・関西のものだったが、大阪関西のみとするのではなく、日本の様々な食、あるいは国産の食材、各地のお酒を提供して、日本各地の食を発信していきたいと考えている。
- 関西ジャパンハウスについては、47都道府県から順々に工芸の職人を誘致して、制作風景の発信するといった内容を考えている。
- 関西アート&カルチャーミュージアムについては、大阪関西に居住している作家だけでなく、日本の様々な作家の作品などを展示していくことを考えている。

⇒【論点①】世界中の観光客を引き付けることのできるコンテンツを提供するに当たり、観光・地域経済の振興の観点から、日本の集客と大阪・関西の集客の双方が求められる中で、地域の創意工夫を活かし大阪・関西にゆかりの深いコンテンツを取り扱うことと、日本各地の幅広いコンテンツを取り扱うことの両面性が検討されていることについて、そのバランスをどのように捉えるか。

評価基準8 魅力増進施設

- 鑑賞、体験など、発信方法に多様性が見受けられ、また、季節の移り変わりに合わせて演出内容の更新や、企画展に加えて、ワークショップ等の参加型プログラムの実施、その時々々のニーズやトレンドに合わせた最適なコンテンツの提供など、リピート促進のための取組に一定の配慮が見受けられる。

<区域整備計画 抜粋 (p.85～87)>

①魅力増進施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

3. ガーデンシアター

- 日本の伝統的及び現代的な要素を取り入れた新しいコンテンツの創造に継続的に取り組み、その時々々のニーズやトレンドに合わせた最適なコンテンツを提供する。

4. 三道体験スタジオ

- 季節の移り変わりに合わせて演出内容の更新を行い、プログラムや体験を変化させる。再訪時には前回とは異なる体験ができるよう工夫を行う。

5. ジャパン・フードパビリオン

- 地元のシェフやレストラン、企業と連携した大小様々なイベントの実施及び次世代の料理人の発掘・継続的な育成による新たなコンテンツの創造を通して、「食」における新たな体験価値を地域とともに継続的に創出する。

6. 関西ジャパンハウス

- 定期的に工房に滞在する職人の入替えを行う。

7. 関西アート&カルチャーミュージアム

- 企画展の開催に加えて、ワークショップ等の参加型のプログラム等、多彩な体験でリピーターの来館を促す。

評価基準8 魅力増進施設

- 各施設間で連携し、1日の中でイベント等の開催スケジュールが重複しないように設定するなど、来訪客の滞在を促進する工夫が見受けられる。また、観光客がいつでも楽しめるようにする観点から、各施設におけるイベントについて、平日、休日を問わずいつでも開催されることが期待される。【論点②】

<質問回答 抜粋 (8月5日提出)>

- 各施設におけるイベントの開催頻度は現時点で未定ですが、多様な来訪者が複数回訪れても楽しむことができるよう、一定期間ごとに入れ替えるなど、年間を通じて様々なイベントを提供することを考えています。また、来訪者が複数の魅力増進施設を回遊して楽しむことができるなど、大阪IRにおける滞在体験を最大化できるよう、施設間で連携した1日のなかでの開催スケジュールの設定、連動したPRの実施といった工夫を行うことを想定しています。

⇒【論点②】施設間で連携した1日のなかでの開催スケジュールの設定や連動したPRの実施といった工夫を行うことが想定されているものの、各施設におけるイベントの開催頻度は現時点で未定であるという点を踏まえ、今後期待すべき取組も含め、どのように評価すべきか。

評価基準8 魅力増進施設

- 米国やマカオで複数のシアター運営実績を有するMGMのノウハウを活かした運営体制が構築されており、
.....

<区域整備計画 抜粋 (p.88~89)>

②魅力増進施設の業務の実施体制及び実施方法

(1)ガーデンシアター

- 大学や職業訓練プログラム、人材エージェント等と連携し、IR事業者で雇用する。
- 米国やマカオで複数のシアター運営実績を有するMGMのノウハウを活用し、開業準備期間を通して、施設運営に携わるメンバーにこれらの知見の定着を図る。開業後には、実際の運営を通じて日本の魅力の増進及び発信に精通した人材を長期的に育成することで、持続的な運営体制を構築する。

(2)三道体験スタジオ

- IR事業者で雇用する従業員を、適性に応じて配置する。
- IR事業者内に運営担当者を配置し、国内外で類似の施設及びイベントの運営実績を有する企業等の協力のもと、開業準備期間における研修を通してIR事業者内にこれらの知見の定着を図る。また実際の運営を通じて、イベントを含むコンテンツの企画・運営における専門性の高い人材を長期的に育成する。

(3)ジャパン・フードパビリオン

- 熟練度を要する調理工程には、国内外より高度技術を有した人材を確保する。同時に、セントラルキッチン方式を採用し調理工程を効率化することで、熟練度に関係なく幅広い人材を確保する。熟練度が高い人材によるOJT※を通じて、熟練度の浅い人材の育成を推進する。※OJT: On-The-Job Trainingの略称であり、職務現場においての業務を通じて行う教育訓練のことを指す。
- また、調理師学校や地域の複数の専門学校・大学と連携し、長期的な観点で、人材発掘と育成に取り組む。

(4)関西ジャパンハウス

- 施設内の工房で働く職人に関しては、全国各地の工房から誘致し、施設のマネジメントを行う人材については、芸術性や実用性に優れる工芸品を見極め、その魅力を発信できる人材を外部から確保する。また、工芸に関心のある若い人材を採用し、施設内でのOJTや各地の工房での現場体験を通じて長期的に育成する。

(5) 関西アート&カルチャーミュージアム

- ラスベガスでアートギャラリーを運営するMGMのアート&カルチャー部門が有するネットワーク等を活用し、学芸員及び日本の芸術・文化に造詣が深い人材を国内外から確保する。
- MGMが施設運営の経験に基づいて作成したガイドラインをIR事業者に提供し、美術品の取扱い等に関する専門的な研修を通じて長期的な人材育成を行う。

評価基準8 魅力増進施設

- ・ ……また、施設全体として、長期的な人材育成に向けた前向きな姿勢が見受けられる。

<区域整備計画 抜粋 (p.88～89)>

②魅力増進施設の業務の実施体制及び実施方法

(1)ガーデンシアター

- ・ 大学や職業訓練プログラム、人材エージェント等と連携し、IR事業者で雇用する。
- ・ 米国やマカオで複数のシアター運営実績を有するMGMのノウハウを活用し、開業準備期間を通して、施設運営に携わるメンバーにこれらの知見の定着を図る。開業後には、実際の運営を通じて日本の魅力の増進及び発信に精通した人材を長期的に育成することで、持続的な運営体制を構築する。

(2)三道体験スタジオ

- ・ IR事業者で雇用する従業員を、適性に応じて配置する。
- ・ IR事業者内に運営担当者を配置し、国内外で類似の施設及びイベントの運営実績を有する企業等の協力のもと、開業準備期間における研修を通してIR事業者内にこれらの知見の定着を図る。また実際の運営を通じて、イベントを含むコンテンツの企画・運営における専門性の高い人材を長期的に育成する。

(3)ジャパン・フードパビリオン

- ・ 熟練度を要する調理工程には、国内外より高度技術を有した人材を確保する。同時に、セントラルキッチン方式を採用し調理工程を効率化することで、熟練度に関係なく幅広い人材を確保する。熟練度が高い人材によるOJT※を通じて、熟練度の浅い人材の育成を推進する。※OJT: On-The-Job Trainingの略称であり、職務現場においての業務を通して行う教育訓練のことを指す。
- ・ また、調理師学校や地域の複数の専門学校・大学と連携し、長期的な観点で、人材発掘と育成に取り組む。

(4)関西ジャパンハウス

- ・ 施設内の工房で働く職人に関しては、全国各地の工房から誘致し、施設のマネジメントを行う人材については、芸術性や実用性に優れる工芸品を見極め、その魅力を発信できる人材を外部から確保する。また、工芸に関心のある若い人材を採用し、施設内でのOJTや各地の工房での現場体験を通じて長期的に育成する。

(5) 関西アート&カルチャーミュージアム

- ・ ラスベガスでアートギャラリーを運営するMGMのアート&カルチャー部門が有するネットワーク等を活用し、学芸員及び日本の芸術・文化に造詣が深い人材を国内外から確保する。
- ・ MGMが施設運営の経験に基づいて作成したガイドラインをIR事業者に提供し、美術品の取扱い等に関する専門的な研修を通じて長期的な人材育成を行う。

評価基準13

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

項目 (配点)	評価基準	具体的記載項目 (手引きより抜粋)	配点の 細分化	ベンチマーク				
13. その他観光旅客の来訪・滞在促進施設(30点)	コンテンツやサービスが、国際競争力と高いクオリティを有し、外国人旅行者をはじめとした幅広い人々が楽しむことのできる観光資源であることが求められる。また、施設の運営やコンテンツの調達・開発など、計画された事業を実施するために必要な体制及びノウハウを備えていることが求められる。	<p>①その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針</p> <p>②その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の業務の実施体制及び実施方法</p>	なし	<p>・方針について、以下①、②で例示する観点など、国際競争力と高いクオリティを有し、外国人旅行者をはじめとした幅広い人々が楽しむことのできるよう十分に配慮された計画と考えられる場合、「優れている」以上の高い評価を与える。</p> <p>・評価に当たっては、シンガポールIRの事例を参考にしつつ、どのような考え方で計画しているかを確認するものとする。</p> <p>(評価の観点の例)</p> <table border="1" data-bbox="1263 727 2094 1401"> <thead> <tr> <th data-bbox="1263 727 1637 786">①コンテンツ・サービス</th> <th data-bbox="1637 727 2094 786">②体制及びノウハウ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1263 786 1637 1401"> <ul style="list-style-type: none"> 世界的に知名度や実績のあるコンテンツやサービスの提供がなされる計画である 地域独自のコンテンツやサービスの提供がなされる計画である 来訪目的、年齢層、国籍を問わず、ターゲット客層が楽しめるコンテンツやサービスを提供することが検討されている </td> <td data-bbox="1637 786 2094 1401"> <p>運営事業者において、</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な組織体制が構築されている これまでに同規模施設の運営実績がある <p>コンテンツ・サービス制作に携わる主要スタッフについて、</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な組織体制が構築されている これまでに同規模コンテンツの制作実績がある </td> </tr> </tbody> </table>	①コンテンツ・サービス	②体制及びノウハウ	<ul style="list-style-type: none"> 世界的に知名度や実績のあるコンテンツやサービスの提供がなされる計画である 地域独自のコンテンツやサービスの提供がなされる計画である 来訪目的、年齢層、国籍を問わず、ターゲット客層が楽しめるコンテンツやサービスを提供することが検討されている 	<p>運営事業者において、</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な組織体制が構築されている これまでに同規模施設の運営実績がある <p>コンテンツ・サービス制作に携わる主要スタッフについて、</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な組織体制が構築されている これまでに同規模コンテンツの制作実績がある
①コンテンツ・サービス	②体制及びノウハウ							
<ul style="list-style-type: none"> 世界的に知名度や実績のあるコンテンツやサービスの提供がなされる計画である 地域独自のコンテンツやサービスの提供がなされる計画である 来訪目的、年齢層、国籍を問わず、ターゲット客層が楽しめるコンテンツやサービスを提供することが検討されている 	<p>運営事業者において、</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な組織体制が構築されている これまでに同規模施設の運営実績がある <p>コンテンツ・サービス制作に携わる主要スタッフについて、</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な組織体制が構築されている これまでに同規模コンテンツの制作実績がある 							

＜認識整理＞ ※下線は特に御議論いただきたい箇所

- 夢洲シアターでは、世界的なアーティストによるコンサートやパフォーマンス等が行われ、コンテンツに応じてVIP・ビジネス・ファミリー層の誘引が計画されており、国際競争力と高いクオリティを有し、外国人旅行客をはじめとした幅広い客層が楽しめる施設となっていることがうかがえる。また、公演期間・開催頻度について、中長期公演と単発のイベントをローテーション形式で開催するなど、IR施設への集客力を高める観点から、安定的に魅力的なコンテンツを提供していく姿勢がうかがえる。
- また、ジャズクラブ、サパークラブ、バーアレーでは、来訪者のナイトライフを充実させるエンターテインメント性に富んだ「食」体験の提供や、Luxuryリテールでは、世界トップクラスのハイブランドを集積した非日常的なショッピング体験の提供が検討されており、外国人旅行客や国内外の富裕層をはじめとした幅広い人々が楽しむことのできるよう配慮されていることがうかがえる。加えて、ガーデンシアターや関西ジャパンハウスなどの魅力増進施設といった他のIR施設と一体となって楽しめるよう工夫されていることがうかがえる。【論点①】
- 運営体制について、エンターテインメント施設では、アーティスト・関係プロモーターとのネットワークを活用した誘致の実施や、飲食施設では、MGMのラスベガスでの運営の知見を活かし、IR事業者による直営を中心とするといった記述があり、MGMの実績を活かしていこうとする前向きな姿勢が見受けられる。

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

- ・ 夢洲シアターでは、世界的なアーティストによるコンサートやパフォーマンス等が行われ、コンテンツに応じてVIP・ビジネス・ファミリー層の誘引が計画されており、国際競争力と高いクオリティを有し、外国人旅行客をはじめとした幅広い客層が楽しめる施設となっていることがうかがえる。……

<区域整備計画 抜粋 (p.103~104)>

①その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

2. エンターテインメント施設

(2) 夢洲シアターの概要

b. 設置及び運営の方針

(a) 基本的な考え方

- ・ 世界的なアーティストによるコンサートや映画・音楽の授賞式に加えて、グローバルなコンテンツ展開を行うエンターテインメント企業、世界で活躍するクリエイティブなアーティスト・パフォーマー等とのコラボレーションにより、新しいエンターテインメントを世界に向けて発信する。
- ・ 既に知名度の高いエンターテイナーだけでなく、大阪・関西・日本における新たな才能の発掘と育成に取り組み、日本のエンターテイナーを世界に向けて発信していく舞台となる。

(b) ターゲットとする客層

- ・ コンテンツに応じて、ビジネス客からファミリー層まで幅広い来訪者・客層をターゲットとする。
- ・ 世界的なスターのイベントでは、VIPやMICEイベントへの参加者をはじめ国内外からの多様な客層をターゲットとして大阪IRに誘引する。
- ・ 大阪IRでしか見られないショーやイベントのほか、誰もが楽しめるエンターテインメント・コンテンツを多数展開することで、訪日外国人旅行者、国内旅行者、関西地域の住民など幅広い客層の誘客を促進する。

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

<質問回答 抜粋 (8月22日提出)>

<公演や団体誘致等の計画の考え方について>

- 夢洲シアターでは、音楽、ダンスなどのパフォーマンスから、ボクシングなどのスポーツ関連のイベント、和太鼓などの日本の伝統的な演目まで、国内外の様々なエンターテインメントを提供する予定です。
- MGM・オリックスは、既に以下のようなパートナーから、大阪IRでの公演に関心を示すLOE(Letter of Endorsement)を取得しています(「大阪IR_質問番号3_回答・別紙関心表明書の取得先(その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設:夢洲シアター)No.1~3」を参照ください。)。また、その他にも、MGMが米国やマカオのIR施設の運営を通して構築してきた様々なアーティストやパフォーマーとのネットワークを活かして、**トップクラスのエンターテイナーを大阪IRに誘致して**いきます。

関心表明書の取得先 (その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設:夢洲シアター)

- [Redacted]
- [Redacted]
- [Redacted]
- [Redacted]

No.	パートナー名	説明
[Redacted]		

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

- ……また、公演期間・開催頻度について、中長期公演と単発のイベントをローテーション形式で開催するなど、IR施設への集客力を高める観点から、安定的に魅力的なコンテンツを提供していく姿勢がうかがえる。

【論点①】

<質問回答 抜粋（8月22日提出）>

<公演や団体誘致等の計画の考え方について>

- 夢洲シアターのような大規模なエンターテイメント施設においては、安定的に魅力的なコンテンツを提供するため、コンサートプロモーターと連携してツアー公演等の誘致を行い、年間のイベントカレンダーを作成することが重要です。

<公演の価格帯や開催頻度などの考え方について>

- 開催頻度は公演形態や公演内容によって異なりますが、現時点では、夢洲シアターのコンテンツは、一定の期間にわたる中長期公演と単発のイベントをローテーション形式で開催することを想定しており、中長期公演を実施する場合には、[redacted]の公演を想定しています。
- また、単発のイベントの場合は、土日や平日の夜を中心に、大阪IRの他施設のイベント状況も踏まえて、公演スケジュールを設定することを考えています。

<10月28日ヒアリングにおける申請者回答抜粋>

夢洲シアターに関する申請者の回答(IR事業者:オリックス)

- [redacted]といったトップアーティストについては、日本ではドーム球場が満席になるような規模で公演していると認識。一方、ラスベガスのMGMの施設では、[redacted]

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

- また、ジャズクラブ、サパークラブ、バーアレーでは、来訪者のナイトライフを充実させるエンターテイメント性に富んだ「食」体験の提供や、Luxuryリテールでは、世界トップクラスのハイブランドを集積した非日常的なショッピング体験の提供が検討されており、外国人旅行者や国内外の富裕層をはじめとした幅広い人々が楽しむことのできるよう配慮されていることがうかがえる。……

<区域整備計画 抜粋 (p.105~106)>

①その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の種類、機能、規模、外観及び内装の特徴、設置及び運営の方針

3. 飲食施設

(3) ジャズクラブ、サパークラブ、バーアレー等のナイトエンターテイメント施設の概要

b. 設置及び運営の方針

(a) 基本的な考え方

- 来訪者のナイトライフを充実させるエンターテイメント性に富んだ「食」の体験を提供する。

(b) ターゲットとする客層

- 富裕層やナイトエンターテイメントを求める訪日外国人旅行者を主なターゲットとする。

4. 物販施設

(2) Luxuryリテールの概要

b. 設置及び運営の方針

(a) 基本的な考え方

- 世界トップクラスのハイブランドをアジア有数の規模で集積させ、非日常的なショッピング体験を提供する。

(b) ターゲットとする客層

- 国内外の富裕層をターゲットとする。カップルや家族連れ等カジノを利用しない富裕層に対しても充実したショッピング体験を提供する。

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

<質問回答 抜粋（8月22日提出）>

- ジャズクラブでは、酒類を含むドリンクや軽食をアラカルト方式で注文できるテーブルサービスを提供しながら、**言語の違いを関係なく楽しむことができるジャズの生演奏を行う予定**です。[redacted]を計画しています。営業時間は[redacted]を想定していますが、午後11時以降は、受付にて年齢確認を行い、20歳未満の入店を禁止することを検討しています。
- サパークラブでは、[redacted]に加え、[redacted]計画です。営業時間は[redacted]を想定していますが、ジャズクラブと同様、深夜営業の時間帯においては、20歳未満の来場者の入店を制限することを検討しています。
- バーアレーでは[redacted]しています。また、深夜の時間帯においても、来訪者の飲食ニーズに対応すべく、一部の店舗においては、軽食だけではなく、ディナーメニューも提供する計画です。バーアレーの営業時間は未定ですが、終夜営業を行う店舗の設置も検討しています。なお、各店舗において、必要に応じて年齢確認を実施する予定です。

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

＜添付資料（ナイトエンターテイメント施設 外観・内観）＞



評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

- ……加えて、ガーデンシアターや関西ジャパンハウスなどの魅力増進施設といった他のIR施設と一体となって楽しめるよう工夫されていることがうかがえる。

<10月28日ヒアリングにおける申請者回答抜粋>

- ファミリー層の方にも楽しんでいただける施設にしていきたいと考えている。
- MUSUBIホテルについては、子供連れの方を含めた幅広い来訪者をターゲットにした宿泊施設となっている。子供も楽しめるプールや、大浴場、ビュッフェなどを計画している。
- コンサバトリーについては、宿泊施設の一つであるMGM大阪の中に位置しており、展示スペース空間にて、様々なテーマに沿ったアートの展示やインスタレーションを展示し、宿泊しないお客様にも楽しんでいただきたいと考えている。なお、コンサバトリーはラスベガスのMGMの施設でも非常に集客力のある施設となっている。
- ガーデンシアターについては、日本の伝統芸能や歌舞伎などを含め、魅力発信していく。また、テクノロジーとの融合や海外のコンテンツ・パフォーマンスとのコラボレーションするような形で、敷居を高くせず、ファミリー層や海外からのお客様も含めて楽しんでいただけるようにしていくことを考えている。
- ジャパン・フードパビリオンについては、大阪関西にとどまらない、日本の多様な食の魅力と、体験型のイベント・ワークショップなどを通じて、魅力を発信していく。
- 関西ジャパンハウスについては、日本の工芸品を中心に、物販だけでなく制作風景を見られる方法を設けることや、体験制作もできるような形で、子供も楽しめるように考えている。
- 関西アート・カルチャーミュージアムについては、日本の新しいアーティストを含め、体験型のプログラム、ワークショップなども含めて、身近に楽しんでいただける形で発信していきたい。
- これらの施設と夢洲シアターや屋外空間が一体となり、ファミリー層にも十分に楽しんでいただける大阪IRになると考えている。

⇒【論点①】外国人旅行客をはじめとした幅広い人々が楽しむことのできる観光資源となるよう、引き続き、大阪IRならではの目新しいコンテンツ・サービスをさらに生み出し、国際競争力・クオリティを高めていく取組を求めていく必要があるのではないか。

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

- 運営体制について、エンターテイメント施設では、アーティスト・関係プロモーターとのネットワークを活用した誘致の実施や、飲食施設では、MGMのラスベガスでの運営の知見を活かし、IR事業者による直営を中心とするといった記述があり、MGMの実績を活かしていこうとする前向きな姿勢が見受けられる。

<区域整備計画 抜粋 (p.108)>

②その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設の業務の実施体制及び実施方法

1. エンターテイメント施設

(1) 運営体制、参画企業とその実績

- IR事業者による直接運営とする。ショーコンテンツの制作等の専門性を要する業務や、セキュリティや清掃といった特定の業務については外部のパートナーと連携し、IR事業者内の担当部署がマネジメントを行う。
- IR事業者内の担当部署が、専門的な知見及び実績のあるコンテンツ・プロバイダーと連携してパフォーマー等との交渉や誘致を行い、年間カレンダーを作成する。マーケティングやプロモーションを実施しながらイベント企画やチケット販売を行うことで、クオリティの高い魅力的なコンテンツの創出をめざす。

2. 飲食施設

(1) 運営体制、参画企業とその実績

- MGMのラスベガスでの飲食施設運営の知見を活かし、IR事業者による直営を中心とする。一部、第三者へのリース方式や運営委託方式を戦略的に導入する。連携先は、大阪・関西のシェフやレストラン、国際的なコンテストでの実績を有する国外のシェフやレストラン等とする。

3. 物販施設

(1) 運営体制、参画企業とその実績

- Luxuryリテールは各ハイブランドへのリース方式による運営、その他リテールはIR事業者による直営または第三者へのリース方式や運営委託とする。MGMはラスベガスやマカオで大規模なLuxuryリテール運営の実績を有しており、既に複数のハイブランドから関心表明を受領している。

評価基準13 その他観光旅客の来訪・滞在促進施設

<質問回答 抜粋 (8月22日提出)>

<公演や団体誘致等の計画の考え方について>

- 夢洲シアターのような大規模なエンターテインメント施設においては、安定的に魅力的なコンテンツを提供するため、コンサートプロモーターと連携してツアー公演等の誘致を行い、年間のイベントカレンダーを作成することが重要です。**MGMは、ラスベガスのMGMグランド・ガーデン・アリーナ、T-モバイル・アリーナ、パーク・シアター等の施設運営を通じて、世界的なコンテンツ・プロバイダー、テクノロジー・パートナー、プロモーター等のエンターテインメント企業やスポーツ団体と関係を構築しています。**2019年だけでも9,000以上のショーやイベントを開催し、約1,200万枚のチケットを販売しました。大阪IRに関して、以下のような国内外の大手プロモーター等からLOEを取得しています(「大阪IR_質問番号3_回答・別紙_関心表明書の取得先(その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設:夢洲シアター)No.4~7」を参照ください。)。

関心表明書の取得先 (その他観光旅客の来訪及び滞在の促進に寄与する施設:夢洲シアター)

- [Redacted]
- [Redacted]
- [Redacted]
- [Redacted]

No.	パートナー名	説明
		[Redacted]

評価基準21

評価基準21 財務の安定性

項目 (配点)	評価基準	具体的記載項目 (手引きより抜粋)	配点の 細分化	ベンチマーク		
21. 財務 の安定性 (50点)	財務面から みて安定的 であり、業績 が下振れし た場合にも 適切に対応 し、長期的に 事業を継続 できることが 求められる。	① IR施設の維持管 理及び設備投資 の内容並びにこ れらに要する費 用の額 ② 収支計画及び資 金計画(収入等 の前提となる指 標やその設定条 件含む) ③ 財務の状況が悪 化した場合の措 置(想定リスクと 対処方針)	なし	<p>・以下①～③について、シンガポールIRの事例を参考にしつつ、財務面からみて安定的かつ長期的に事業を継続できるよう十分に配慮された計画と考えられる場合、「優れている」以上の高い評価を与える。</p> <p>・評価に当たっては、申請者が想定する事業期間における財務の安定性に係る考え方や、国内外の類似事例にも留意するものとする。</p>		
				①収入等の前提 となる指標やそ の設定条件	②収益性と安全性 (財務三表より確認)	③財務の状況が悪化し た場合の措置
				<ul style="list-style-type: none"> ・IRを構成する各施設毎の来訪者数や、収入等の単価の算出根拠について、具体性・実現性があるか確認する 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務三表の数値を整理し、以下指標に照らし、事業経営上の収益性と安全性を確認する <p><確認する指標></p> <p>(収益性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業収益 ・EBITDA(償却前営業利益) ・EBITDAマージン(EBITDA÷営業収益) ・営業利益 ・営業利益率(営業利益÷営業収益) ・当期純利益 ・ROE(当期純利益÷株主資本) ・ROA(総資本利益率) <p>(安全性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己資本比率 ・流動比率 ・固定比率 ・EBITDA有利子負債倍率 ・フリー・キャッシュ・フロー ・当座比率 ・インタレスト・カバレッジ・レシオ 	<ul style="list-style-type: none"> ・財務状況を悪化されるリスク(※)について、十分検討されているか確認する ・想定されるリスクが発生したとしても、財務に健全性があると認められるか確認する <p>(※)世界における市場環境等のほか、日本にIRが複数開業することによるパイの奪い合いによる影響を含む</p>

<認識整理>

- 事業期間は区域整備計画の認定後35年間とされており、開業2年目にはフリーキャッシュフローが黒字化し借入金の返済を開始、以降は、IR施設の修繕やコンテンツ更新といった再投資等に充てられる計画となっている。一方で、長期に渡ってIR収益全体におけるカジノ収益の割合が高い水準で維持する計画となっており、カジノ事業への集中度が高いことによって、社会的なリスクを伴い、長期的な不安定要因となり得る点が懸念される。
- 業績が事業計画を下回る想定として、ショックケースとダウンケースのシミュレーションを実施し、それぞれで想定される事象が発生しても事業存続が可能であると確認しており、具体的な検証を行っていることが十分にうかがえる。【論点①】

<委員会として求める事項案>

- 全体収益の約8割をカジノ事業が占めており、中長期的にみても、その割合が大きく変わらないことが見受けられるところ、長期的に安定した事業実施を行う観点から、カジノ事業以外における収益増加に向けた取組がなされるよう、改善が求められる。

評価基準21 財務の安定性

- 事業期間は区域整備計画の認定後35年間とされており、開業2年目にはフリーキャッシュフローが黒字化し借入金の返済を開始、以降は、IR施設の修繕やコンテンツ更新といった再投資等に充てられる計画となっている。…

<区域整備計画 抜粋 (p.142)>

1. 収支計画

(4) 予定キャッシュ・フローの見通し

- 建設期間は、建設コスト及び開業準備費の支出を株主からの出資及び金融機関からの借入で調達。
- 運営開始後は、営業キャッシュ・フローが黒字化する開業2年目から金融機関に対する借入返済を本格化。
- 開業2年目に営業キャッシュ・フロー及びフリーキャッシュ・フローが黒字化。事業から創出したキャッシュは、金融機関からの借入の返済に充てると同時に、IR施設の経常修繕・大規模修繕、コンテンツ更新・開発等への投資を行うことを想定。

評価基準21 財務の安定性

- …一方で、長期に渡ってIR収益全体におけるカジノ収益の割合が高い水準で維持する計画となっており、カジノ事業への集中度が高いことによって、社会的なリスクを伴い、長期的な不安定要因となり得る点が懸念される。

●収支計画

- 開業3年目期のIR事業全体の売上高は約5,200億円、当期純利益は約750億円を見込む。
- 開業3年目期においては、カジノ事業からの収益は約4,200億円(全体収益の80%程度)、非カジノ事業からの収益は約1,000億円(全体収益の20%程度)を見込む。

●カジノ・非カジノ収益と比率の推移(大阪IR)

	(開業3年目)		(5年目)	(10年目)	(15年目)	(20年目)	(28年目)
(百万円)	2029年度	2030年度	2031年度	2033年度	2038年度	2043年度	2056年度
カジノ収益							
非カジノ収益							
合計							
カジノ比率							

●マリーナベイサンズ(2010年4月に部分開業、2011年2月に全面開業)

(億円)	1年目 (2010年)	2年目 (2011年)	3年目 (2012年)	4年目 (2013年)	5年目 (2014年)	6年目 (2015年)	7年目 (2016年)	8年目 (2017年)	9年目 (2018年)	10年目 (2019年)
カジノ	943	1,912	1,836	2,331	2,751	2,825	2,377	2,854	2,427	2,385
非カジノ	179	450	496	597	683	777	697	716	993	1,028
合計	1,122	2,362	2,332	2,928	3,434	3,603	3,074	3,570	3,420	3,413
カジノ比率	84%	81%	79%	80%	80%	78%	77%	80%	71%	70%

評価基準21 財務の安定性

- 業績が事業計画を下回る想定として、ショックケースとダウンケースのシミュレーションを実施し、それぞれで想定される事象が発生しても事業存続が可能であると確認しており、具体的な検証を行っていることが十分にうかがえる。【論点①】

<区域整備計画 抜粋 (p.144～145)>

1. 財務状況を悪化させるリスクと対処方法

(1) 財務状況を悪化させるリスク

大阪IRのリスクに関しては、保険アドバイザーによる分析とともに、MGMの複数の国及び地域でのIRの運営経験、IR事業の特性や夢洲の立地・地盤状況を踏まえて抽出している。そのうち、主なものは以下のとおり。

(注:以下、計画内容を適宜省略)

a. 建設中・運営中共通のリスク

(b) 経済環境の変化によるリスク

- ・ **建設費の高騰**、人件費の増加、需要が計画上の数値よりも下振れする等のリスク

b. 建設中のリスク

(a) スケジュール遅延リスク

- ・ IR事業に必要な許認可の取得の遅れや不認可、アクセス道路(橋・トンネル)の不通による工事の遅延、事業用地の沈下対策、液状化対策、夢洲内での他の工事及び催事との輻輳等

による工事の遅延、環境汚染等のリスク

(b) 建設コスト増加リスク

- ・ (a)に記載の遅延要因、沈下等の地盤対策や経済環境の変化等による建設コストの増加リスク

c. 運営中のリスク

(c) 需要低迷リスク

- ・ **中国人顧客の来日・来阪人数の減少(特にVIPとプレミアムマス顧客)等の地政学リスク**、競合施設開業リスク、日本政府の規制強化(入場規制強化等)、マイナンバーカードの普及が進まない等の影響による日本人顧客数の計画未達等の需要低迷リスク

評価基準21 財務の安定性

<区域整備計画 抜粋 (p.146)>

事業計画を策定するに当たり、業績が事業計画を下回るケース(ストレスケース)として、ショックケースとダウンケースの2種類のケースを想定しシミュレーションを実施。そのような場合にも、長期的に事業を継続できることを検証済みである。

a. ショックケース(一時的に大きな収入減が発生)

大地震等の大きな災害、感染症を含む疫病、経済危機、隣国との外交不安等により、一時的な施設閉鎖や来訪者数がゼロになる可能性が想定される。過去の海外IR事業では半年以上の施設全面閉鎖の事例は存在しないことから、最大12か月間、売上がゼロでも事業存続可能となる手元流動性必要額を約1,000億円と試算し、当該金額が確保できるよう以下の対策を講じる。

- (a) 平常時から緊急時用の現預金を確保
- (b) 借入返済準備金を確保
- (c) 金融機関からの運転資金コミットメントラインを設定

b. ダウンケース(業績が計画を下回る状態が継続)

計画上の需要見込みと実需要の乖離、近隣に競合施設が複数できること、交通環境の著しい変更(空港の廃止等)等の要因により、需要や収入が事業計画を下回る状況が中・長期間続く可能性が想定される。試算の結果、カジノ事業の需要が事業計画上の見込みより25%程度計画を下回ったとしても、以下を含めた理由及び対策により、一定程度の事業耐性があることを検証済みである。

- ・ IR事業は変動比率が高い収益モデルであること
- ・ 需要乖離の程度に応じて適宜採用人数等の調整等により人員配置の最適化を早期に実施

評価基準21 財務の安定性

<質問回答 抜粋 (9月5日提出)>

- ダウンケースの検討としては、[REDACTED] GGRが事業計画より25%下回る場合以外のものとして、例えば、以下のようなケースの検討を行っています。

< [REDACTED] ケース >

- [REDACTED]
- [REDACTED] 事業計画への影響を検証。

< [REDACTED] ケース >

- [REDACTED]
- [REDACTED] 事業計画への影響を検証。

- なお、上記のダウンケースの検討においても、事業が破綻するような評価には至っていません。

<10月28日ヒアリングにおける申請者回答抜粋>

資材価格高騰への対応策に関する申請者の回答(IR事業者:オリックス)

- 基本計画をベースに、事業者としては、設計会社やゼネコンと協議をしながら、コストについては一定試算をしてきたところである。ただし、この間の世界的な物価上昇や、急激な円安ということが起きているので、やはりマクロ経済の環境それからこの先の見通しについてはしっかりと注視しながら今現在進めている計画がきちんと実現出来るよう、また [REDACTED] 進めていきたいと考えている。

⇒【論点①】財務状況が悪化するリスクが顕在化した場合において、計画された対処方針が確実に実施され、長期間にわたって安定的で継続的なIRの運営が確保されることについて、継続的に確認していく必要があるのではないか。

評価基準24

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

項目 (配点)	評価基準	具体的記載項目 (手引きより抜粋)	配点の 細分化	ベンチマーク
24. カジノ事業の収益の活用 (50点)	<p>カジノ事業の収益を十分活用するとともに、その他の収益も活用して、IRの開業後も長期的に世界中の観光客を引き付けることのできる魅力的な施設やコンテンツを継続的に創り出すなど、IR施設の整備その他IR事業の事業内容の向上や都道府県等が実施する施策への協力等を行うことが求められる。</p>	<p>①カジノ事業の収益等を活用したIR事業の事業内容の向上 ②都道府県等が実施する区域整備計画に関する施策への協力 ③収支計画および資金計画との整合性</p>	なし	<p>・IRを構成するカジノ以外の施設の事業に着目し、各提案に係る予算規模を考慮しつつ、カジノ収益の公益還元の観点から十分に配慮された計画と考えられる場合、「優れている」以上の高い評価を与える。</p> <p>・評価に当たっては、再投資に係る国内外の事例にも留意する。</p>

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

<認識整理> ※下線は特に御議論頂きたい箇所

- カジノ事業の収益の活用方針について、長期的・継続的にIR事業内容の向上とIR区域の魅力向上に取り組むため、大阪IR全体及び各IR施設の機能及び魅力の維持・向上に必要な投資を適切に行うこととされており、また、MICE施設のプロモーションの実施、コンテンツの新たな創出や更新を行うとされていることから、カジノ事業の収益の公益還元について、長期的・継続的に取り組む姿勢がうかがえる。
- 大阪IR開業後のカジノ収益の活用の金額は、開業3年目においては、カジノ事業の収益から租税、納付金及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間150億円程度を想定しており、その用途は、施設の維持管理等以外にも、ギャンブル等依存症対策や災害等緊急時のサポート等に充てられる計画となっており、大阪府・市が実施する施策への協力等が前向きに検討されていることがうかがえる。
- 他方、カジノ事業を中心とする事業構造を長期的にも維持する計画を前提として、維持更新投資は適切に計画されているものの、カジノ事業がIR区域の整備推進のために特別に認められるものであることに鑑みると、世界中から多くの観光客を引き付ける国際競争力を維持向上していくための資本的支出の水準は、カジノ事業の高い収益性に照らして見れば高いとは言い難い。【論点①】

<委員会として求める事項案>

- カジノ事業の高い収益性を更に活用し、非カジノ事業についても、IR区域において必要となる新たな施設の整備や既存の施設の更新を今後行うことにより、IR区域の魅力の向上を図り、世界中から多くの観光客を引き付ける国際競争力を維持向上していくことが求められる。

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

- ・ カジノ事業の収益の活用方針について、長期的・継続的にIR事業内容の向上とIR区域の魅力向上に取り組むため、大阪IR全体及び各IR施設の機能及び魅力の維持・向上に必要となる投資を適切に行うこととされており、また、MICE施設のプロモーションの実施、コンテンツの新たな創出や更新を行うとされていることから、カジノ事業の収益の公益還元について、長期的・継続的に取り組む姿勢がうかがえる。

<区域整備計画 抜粋 (p.157～158)>

1. IR施設の整備等(資本的支出)

(2) IR施設・設備等への再投資

a. MICE施設(国際会議場施設及び展示等施設)【費用の見込み:約2億円/年】

- ・ 催事のオンライン化やバーチャル化への対応も見据え、ITインフラやネット環境等について大容量通信への対応や通信設備の強化を図る等、時勢に応じ最先端で高利便な設備・機能を備えていくことが必要であり、経常的な施設の修繕に加えて、設備更新を含む様々な再投資を実施する。

b. 魅力増進施設【費用の見込み:約1億円/年】

- ・ 各魅力増進施設が有する**魅力及び機能を維持・向上**し、継続的に日本の魅力の発信並びに大阪IRへの来訪及び滞在促進を図るため、施設及び設備への再投資(修繕・更新等)を実施する。

c. 送客施設【費用の見込み:約0.1億円/年】

- ・ **来訪者を誘引できる魅力と新規性の維持**が図られるよう、施設及びコンテンツへの再投資(修繕・更新等)を実施する。

d. 宿泊施設【費用の見込み:約8億円/年】

- ・ 客室や共用施設を含めて**宿泊施設全体の魅力が維持**できるよう、施設及び設備への再投資(修繕・更新等)を実施する。

e. 来訪及び滞在寄与施設【費用の見込み:約14億円/年】

- ・ **驚きや感動に満ちた滞在体験を常に提供し、来訪者の滞在環境の向上**が図られるよう、非日常のリゾート空間を創出する演出効果への投資を含め、施設及び設備への再投資(修繕・更新等)を実施する。

f. カジノ施設【費用の見込み:約2億円/年】

- ・ **日本国内、マカオ、シンガポール等周辺地域のカジノ施設との競争力が維持**できるよう、継続的に施設及び設備への再投資(修繕・更新等)を実施する。

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

<区域整備計画 抜粋 (p.159~160)>

3. IR施設において提供するコンテンツの更新・追加等

IR施設の開業後には、IR施設において提供するコンテンツの更新及び追加等のために必要となる以下のような取組みに継続的に投資(収益的支出)していく。

(1) MICE施設(国際会議場施設及び展示等施設)【費用の見込み:約4億円/年】

- ・ オールインワンMICE拠点としての魅力や国際競争力を維持・向上するため、国際的な会議やイベント等を含め多様な催事が開催できるよう、事業者内でのセールス体制の構築、誘致プロモーション活動の実施、多様なサービスのパッケージ提案、大阪府・市、大阪観光局及び大阪産業局との連携等の様々な取組みを実施する。
- ・ 国際会議や展示会の効果的な誘致実現に向け、誘致活動の初期段階から積極的に関与し、企画立案、MICEパートナー(旅行代理店・PCO・展示会オーガナイザー等)との連携、関係者との調整等を推進する。
- ・ 協賛や共催の提案等を含め、大阪IRでの新たな展示会の創出をめざす。

(2) 魅力増進施設【費用の見込み:約4億円/年】

- ・ 「ガーデンシアター」、「三道体験スタジオ」、「関西アート&カルチャーミュージアム」では、各施設の魅力の維持・向上を図るための定期的なコンテンツ入替え、さらに、期間限定のイベントや大阪IRの他施設と連携した取組み等、新規性のあるコンテンツを継続的に創出する。
- ・ 日本最大級の規模を有する大阪・関西の食文化体験施設である「ジャパン・フードパビリオン」では、飲食体験にとどまらず、実演や食器づくり等のプログラム等を融合させた食文化体験を継続的に提供する。
- ・ 伝統的な日本の工芸文化を発信する「関西ジャパンハウス」では、様々な方法で日本各地の工芸の魅力を発信するとともに、体験型のプログラム等や工芸文化の魅力に触れる機会を提供する。

(以下、適宜省略)

(3) 送客施設【費用の見込み:約4億円/年】

(4) 宿泊施設【費用の見込み:約0.2億円/年】

(5) 来訪及び滞在寄与施設【費用の見込み:約0.4億円/年】

(6) カジノ施設【費用の見込み:約5億円/年】

(7) その他【費用の見込み:約27億円/年、各施設共有分を含む。】

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

<質問回答 抜粋（8月5日提出）>

- 当該構想(※)では、**カジノ事業の収益等の活用による中長期の取組みとして、展示等施設の拡張整備、宿泊施設の拡張整備、IR区域の拡張整備等を想定しており、これらを含め、事業期間35年間におけるカジノ事業の収益等の還元として約8,000億円程度を見込んでいます**(但し、当初事業計画に基づく想定見込み額であり、実際金額は実際の事業状況に応じて変動します。)。※事業期間35年間において大阪IRが長期的にめざす姿については、別紙「大阪IR長期構想(2022年2月16日大阪府、大阪市、大阪IR株式会社)」を参照ください。

※大阪IR長期構想

収益等の還元見込み額 約8,000億円(35年間の合計)

<展示等施設の拡張整備>

- 開業後15年以内を目途に6万㎡以上、事業期間内に10万㎡以上に拡張する計画

<宿泊施設の拡張整備>

- 事業期間内に3,000室以上に拡張する計画

<IR区域の拡張整備>

- 将来的なIR区域拡張予定地(約9万㎡)を位置付け

【将来拡張整備のイメージ】※現時点での想定イメージであり確定したものではありません。



評価基準24 カジノ事業の収益の活用

- 大阪IR開業後のカジノ収益の活用の金額は、開業3年目においては、カジノ事業の収益から租税、納付金及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間150億円程度を想定しており、その用途は、施設の維持管理等以外にも、ギャンブル等依存症対策や災害等緊急時のサポート等に充てられる計画となっており、大阪府・市が実施する施策への協力等が前向きに検討されていることがうかがえる。
- カジノ事業を中心とする事業構造を長期的にも維持する計画を前提として、維持更新投資は適切に計画されているものの、カジノ事業がIR区域の整備推進のために特別に認められるものであることを鑑みると、世界中から多くの観光客を引き付ける国際競争力を維持向上していくための資本的支出の水準は、カジノ事業の高い収益性に照らして見れば高いとは言い難い。【論点①】

<区域整備計画 抜粋 (p.161)>

- 開業後のカジノ事業の収益等の活用として、IR施設の修繕・改修・更新等、運営・維持管理、IR施設において提供するコンテンツの更新・追加、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除のための措置等に還元する予定である。これら開業後のカジノ収益の活用の金額は、開業3年目において、カジノ事業からの収益から租税(納付金を含む。)及び元利支払いを除いた金額の約10%に相当する年間約150億円程度を想定している。

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

<区域整備計画 抜粋 (p.161)>

大阪府・市が認定区域整備計画に関して実施する施策に積極的に協力するとともに、以下の取組みを行う。

1. イベントの協賛【費用の見込み:約10億円／年】

大阪府・市が企画するイベントに対して、大阪IRとして多様な形態で連携・協力を図っていく。

2. カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うための措置への協力【費用の見込み:約2億円／年】

IR事業者は、カジノ施設の設置及び運営に伴う有害な影響の排除を適切に行うため、カジノ事業の収益等を活用することにより、必要な体制等を確保した上で、大阪府・市等が実施する「ギャンブル等依存症対策」及び「治安・地域風俗環境対策」への協力を、以下のとおり行う。

(1) ギャンブル等依存症対策

- ・「ギャンブル等依存症問題啓発週間」における普及啓発活動や、IR区域内において大阪府・市が作成するギャンブル等依存症に関するリーフレットの配架等、必要に応じて大阪府・市が実施する施策に協力する。
- ・調査研究に必要なデータの提供など研究推進の取組みや、大阪・関西における専門人材育成に協力する。

(2) 治安・地域風俗環境対策

- ・犯罪の発生対策、善良の風俗及び清浄な風俗環境の保持、青少年の健全育成に万全を尽くすため、警察や自治体等の関係機関が行う防犯パトロール等の防犯活動や青少年健全育成活動を支援するほか、これらが実施する広報・啓発活動、キャンペーン、会合等への参加等を推進する。

3. 災害等緊急時のサポート【費用の見込み:約3億円／年】

災害等緊急時に夢洲内での一時退避等を行う必要が生じた場合は、大阪IRの敷地や施設を活用し、大阪IRへの来訪者に限らず、IR区域外の避難者に対しても安全に退避できる場所を提供する。

評価基準24 カジノ事業の収益の活用

	年間再投資額(開業3年目)
IR施設の整備を行うための資本的支出	27億円
収益的支出(施設関連)	65億円
コンテンツの更新・追加費用等	44.6億円
有害影響排除を適切に行うための措置	11億円
合計	147.6億円

資本的支出内訳(開業3年目)

(単位：億円)

項目名	費用	
IR施設の整備を行うための資本的支出	27	
経常修繕・大規模修繕・施設建替え	カジノ施設	2
	1号：国際会議場施設	1
	2号：展示等施設	1
	3号：魅力増進施設	1
	4号：送客施設	0
	5号：宿泊施設	8
	6号：来訪及び滞在寄与施設	14
	事業共通施設	0

⇒【論点①】全体収益の約8割をカジノ事業が占めており、中長期的にみても、その割合が大きく変わらないことが見受けられるが、資本的支出(CAPEX)の金額の割合が必ずしも多くはなく、カジノ事業の収益をIR施設に還元する観点も含め、カジノ事業収益の公益還元を一過性の取組とせず、長期的に世界中の観光客を引き付けることのできる積極的な再投資を求めることとしてはどうか。